

○第二十八回 衆議院議事速記録第二十四號

明治四十五年三月二十二日(金曜日)午後一時九分開議

議事日程 第二十三號 明治四十五年三月二十二日

午後一時開議

質問

一 政治的智德涵養ニ關スル質問(村松龜一)

二 殉難者ヲ靖國神社ヘ合祀ノ請願ニ關スル質問(島田三郎君)
三 帝國國防ニ關スル質問(澤來太郎)第一 朝鮮總督府判事ノ恩給ニ請願ニ關スル法律案(政府提出)
右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉第二 外國裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法中改正
法律案(政府提出)第三 擔保附社債信託法中改正法律案(政府提出)
鐵道又ハ船舶ト露國ノ鐵道又ハ船舶ト
ノ貨物ノ聯絡運送ニ關スル法律案(政府提出)第四 第一讀會ノ續(委員長)
第一讀會ノ續(報告)第五 第一讀會ノ續(委員長)
第一讀會ノ續(報告)第六 辯護士法改正法律案(岡田泰藏君外)
第七 治安警察法中改正法律案(日野國明君)
第八 北海道多額納稅議員選出ニ關スル建議案(遠藤吉平君)
官公吏ノ寄附勸誘又ハ會員募集制止ニ關スル建議案(西崎邦輔君)第九 第一讀會ノ續(委員長)
第十 銚子港修築ニ關スル建議案(吉種庄一郎君)
第十一 北海道拓殖經營ニ關スル建議案(小橋斐太)
第十二 明治五十年日本大博覽會開催ニ關スル建議案(高木益太郎君)第十三 區裁判所事務開始復舊ニ關スル建議案(名村忠治)
第十四 區裁判所出張所設置ニ關スル建議案(名村忠治)
第十五 中川改修工事速成ニ關スル建議案(瀬藤珪次君)

- 第十六 營業政策ニ關スル建議案(武藤金吉君)
(委員長報告)
- 第十七 私設運河築港ニ關スル建議案(漆昌盛君外)
(委員長報告)
- 第十八 新二十錢銀貨改鑄ニ關スル建議案(森茂生君)
(委員長報告)
- 第十九 治水政策ニ關スル建議案(大橋賴摸君)
(委員長報告)
- 第二十 北海道醫學專門學校設立ニ關スル建議案(淺羽靖君)
(委員長報告)

- 第二十一 (特別報告第六七號)酒造稅納期變更ノ請願
(委員長報告)
- 第二十二 (特別報告第一八一號)燈臺急設ノ請願
(委員長報告)
- 第二十三 (特別報告第一八二號)鐵道敷設速成ノ請願
(委員長報告)
- 第二十四 (特別報告第一八三號)七尾鐵道延長ノ請願
(委員長報告)
- 第二十五 (特別報告第一八四號)鐵道敷設ノ請願
(委員長報告)
- 第二十六 (特別報告第一八五號)鐵道敷設速成ノ請願
(委員長報告)
- 第二十七 (特別報告第一八六號)鐵道敷設速成ノ請願
(委員長報告)
- 第二十八 (特別報告第一八七號)鐵道敷設速成ノ請願
(委員長報告)
- 第二十九 (特別報告第一八八號)假乘降場設置ノ請願
(委員長報告)
- 第三十 (特別報告第一八九號)鐵道敷設速成ノ請願
(委員長報告)
- 第三十一 (特別報告第一九〇號)鐵道敷設ノ請願
(委員長報告)
- 第三十二 (特別報告第一九一號)輕便鐵道敷設速成ノ
請願
(委員長報告)

- 第三十三 (特別報告第一九二號)鐵道大貨物等級中水
產物等級改正並貨車準備ノ請願
(特別報告第一九三號)多治見驛ヲ途中下車
驛ト爲スノ請願
(委員長報告)
- 第三十四 (特別報告第一九六號)營業稅法改正ノ請願
(委員長報告)
- 第三十五 (特別報告第一九七號)酒造稅法並砂糖消費
稅法改正ノ請願
(委員長報告)
- 第三十六 (特別報告第一九八號)織物消費稅法中改正
(特別報告第一九九號)縣外鹽販賣業者失業
補償ノ請願外五件
(委員長報告)
- 第三十七 (特別報告第一九九號)國事鞅掌報效志士表
(委員長報告)
- 第三十八 (特別報告第一九九號)國事鞅掌報效志士表
(委員長報告)
- 第三十九 (特別報告第一九九號)國事鞅掌報效志士表
(委員長報告)
- 第四十 (特別報告第一九九號)國事犯ノ爲沒收セラ
レタル賞典祿給與金下付ノ請願
(委員長報告)
- 第四十一 (特別報告第一九九號)區裁判所出張所設置
ノ請願
(委員長報告)

第四十二 (特別報告第一〇八號)畜牛結核病豫防法改 正(請願)	(委員長報告)
第四十三 (特別報告第一〇九號)種牛所増設ノ請願	(委員長報告)
第四十四 (特別報告第一一二號)郵便局設置ノ請願	(委員長報告)
第四十五 (特別報告第一二三號)郵便慈善送金規則制 定(請願)	(委員長報告)
第四十六 (特別報告第一一四號)荷物鐵道運送ノ請願	(委員長報告)
第四十七 (特別報告第一一五號)鐵道敷設速成ノ請願	(委員長報告)
第四十八 (特別報告第一一六號)鐵道速成ノ請願	(委員長報告)
第四十九 (特別報告第一一七號)鐵道敷設ノ請願	(委員長報告)
第五十 (特別報告第一一九號)石狩川北岸鐵道敷設 (請願)	(委員長報告)
第五十一 (特別報告第一二〇號)舊藩負債償還處分ノ 請願	(委員長報告)
○議長(大岡育造君) 諸般ノ報告ヲ始メマス (書記朗讀)	
一政府ヨリ左ノ質問書ニ對シ答辯書ヲ送付セラレタリ 對清政策ニ關スル質問主意書(内田外務大臣) (左ノ答辯書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)	
衆議院議員竹内正志君提出對清政策ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候 也	
明治四十五年三月二十日	
内閣總理大臣侯爵西園寺公望	
(別紙)	
衆議院議長大岡育造殿	
一 満國事變發生以來帝國政府ノ執リタル措置ノ大體ハ曩ニ本大臣ノ衆議院ニ 於テ演述シタルカ如シ右ノ外事變ニ關スル情報ハ帝國政府ニ於テ已ニ隨時之ヲ 公表セリ	
二 帝國政府ハ英國トノ同盟關係ニ鑑ミ特ニ同國政府トノ間ニ十分ナル意思ノ疏 通アリ從テ同國政府トノ間ニ何等意思ノ扞格ヲ生シタルカ如キコトナシ	
三 帝國政府ニ於テハ清國ノ政體ニ干渉シタルコトナシ	
四 露國ト外蒙古トノ關係ニ付テハ帝國政府ハ露國政府ノ説明ニ依リ其眞意ノア ル所ニ平和ノ維持ニ存スルコトヲ知悉シ之ニ満足スル次第ナリ 右及答辯候也	
明治四十五年三月二十日	
外務大臣子爵内田康哉	
一貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル左ノ本院提出案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領 セリ	
又左ノ本院提出案ニ對シテハ第一讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒 ヲ受領セリ	
水先法中改正法律案	
產牛馬組合法改正法律案	
煙草專賣法中改正法律案	

官公吏ノ寄附勸誘又ハ會員募集制止ニ關スル建議案 提出者 翠川 鐵 三君 耕 三君	秋岡 義一君 福井 三郎君
メチールアルコール(木精)ニ關スル建議案 提出者 鷲田 土三郎君 築山 和一君	
一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ 南極探検補助金下付ニ關スル質問主意書(佐々木安五郎君外一名提出) (左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)	
一去二十日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ 朝鮮總督府新聞紙規則改正ニ關スル建議案 日向 輝武君 富島 暢夫君 星 一君 清 奎太郎君 三浦 覚一君 大内 暢三君 山田 珠一君 稻村 長次郎君 千葉 稔太郎君 伊東 祐賢君 岡井 藤之丞君 藤代市之輔助君 辻川與一衛門君 蠶種病毒検査手數料廢止ニ關スル建議案 西谷 金藏君 高橋政右衛門君 手塚 正次君 高濱 與七君 笠治 元君 須藤 嘉吉君 煉乳業獎勵ニ關スル建議案 坂元 英俊君 德田 讓甫君 河井 重藏君 市田 兵七君 森田 俊左久君 高橋 嘉太郎君 佐藤 貞雄君 横山 金太郎君 高橋 紹部惣兵衛君 飯田 精一君 一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ 鐵道又ハ船舶ト露國ノ鐵道又ハ船舶トノ貨物ノ聯絡運送ニ關スル法律案委員會 會 議長 吉植庄一郎君 理事 擔保附社債信託法中改正法律案委員會 委員長 熊本 壽人君 理事 一兩院協議會議長及副議長左ノ通り當選セラレタリ 衆議院議員選舉法中改正法律案兩院協議會 議長 伊藤 大八君 副議長 (左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス) 政治的智德涵養ニ關スル質問主意書 右成規ニ據り提出候也 明治四十五年三月十二日 提出者 村松龜一郎 贊成者 高木益太郎 外三十六人	

政治的智德涵養ニ關スル質問主意書
各學校及其ノ他ノ各團體ニ於テ適當ノ時期(例へハ憲法發布ノ日即チ二月十一日若ハ總選舉ノ時機ノ如キ)ニ憲法發布ノ詔勅ヲ奉讀シ學生其ノ他一般臣民ヲシテ聖慮ノ存スル所ヲ知ラシムハ國民ノ政治的智德ヲ涵養スル上ニ至大ノ效果アルモノト認ム政府ハ之ヲ決行スルノ意ナキヤ

右成規ニ據リ提出候也

殉難者ヲ靖國神社ヘ合祀ノ請願ニ關スル質問主意書

明治四十五年三月十一日

提出者 島田 三郎 贊成者 久保田與四郎

外一十九人

殉難者ヲ靖國神社ヘ合祀ノ請願ニ關スル質問主意書

文久二年伏見寺田屋事件殉難者道島五郎兵衛永田佐一郎及元治元年七月長藩人禁闕闖入事變ニ際シ幕府及鹿兒島、會津、桑名、彦根、福井五藩ノ戰亡者ヲ靖國神社合祀ノ請願ハ明治四十二年三月十三日貴衆兩院ニ於テ採擇ト爲リ直ニ政府ニ送付セラレタルニ拘ラス爾來二週年ヲ經過スルモ政府ハ未タ之ニ對シ何等ノ處置ヲ執ラサルハ緩漫ノ甚タシキモノニシテ本員等ハ明治四十二年三月十五日附ヲ以テ質問書ヲ提出シタリ政府ハ本件ハ其ノ關係スル所重大ナルモノアルヲ以テ今尙調査中ニ屬スト答辯シタリ政府ハ調査ノ結果本件ニ關シ如何ナル處分ヲ爲シタルヤ

右及質問候也

理由書

文久二年伏見寺田屋事件殉難者道島五郎兵衛永田佐一郎及元治元年七月長藩人禁闕闖入事變ニ際シ幕府及鹿兒島、會津、桑名、彦根、福井五藩ノ戰亡者ヲ靖國神社合祀ノ請願ハ合祀スヘキモノナルニ當時暴舉ノ爲ニ戰死シタルモノハ現ニ合祀ノ榮典ニ浴スルニ拘ラス純然タル奉勅殉難ノ者却テ之ヲ不問ニ置カルルカ如キハ冠履顛倒ノ甚タシキモノト謂ハサルヘカラス是レ第二十五回議會ニ請願書ノ提出セラレタル所以ニシテ貴衆兩院共ニ之ヲ採擇シタルニ拘ラス政府ハ名ヲ調査中ニ託シテ今尙何等ノ處分ヲ爲サス是レ本質問書ヲ提出スル所以ナリ

右成規ニ據リ提出候也

明治四十五年三月十四日

提出者 澤來太郎 贊成者 守屋此助

外一十九人

帝國國防ニ關スル質問主意書

軍事機密ノ性質、範圍並其ノ事項ヲ明示セラレヨ
軍事機密ノ絕對的ノモノト比較的ノモノトノ區別ヲ明示セラレヨ

帝國國防ノ方針如何

陸軍國防計畫ノ方針如何

海軍國防計畫ノ方針如何

官報號外

明治四十五年三月二十三日

衆議院議事速記録第二十四號

議長ノ報告

國防上陸海軍ノ權衡ヲ失セんニ非スヤ若然ラストセハ其ノ理由ヲ明示セラレヨ
今後陸軍擴張ノ必要アリヤ若アリトスレハ其ノ理由ヲ明示セラレヨ

海軍充實ノ必要理由或シテ充實ノ標準程度ヲ明示セラレヨ
陸軍十九箇師團ヲ設備シ積極的一年兵役制ヲ採用シ且後備服役年限ヲ延長シタル理由如何

朝鮮防衛ノ方針竝之ニ要スル兵備ノ程度ヲ明示セラレヨ

滿洲ニ於ケル軍事關係竝之ニ伴フ兵備ノ程度如何

臺灣防衛ノ方針如何

陸軍毎年ノ徵收人員竝平時人員及戰時兵力幾許ナリヤ

日清日露兩戰役ノ經驗ニ徵シテ陸軍カ戰時一箇師團若ハ一人宛ニ要スル一日ノ經費概算幾許

日清日露兩戰役ノ經驗ニ徵シテ海軍カ戰時一艦宛ニ要スル一日ノ經費概算幾許ナリヤ

當局者ノ所謂海陸兩軍ノ併行的擴張ハ國力トノ調節ヲ覗クノ虞ナキカ若無シトスレハ其ノ理由ヲ明示セラレヨ

以上ノ質問事項中ニハ素ヨリ當局者ノ所謂軍事機密ニ屬スルモノアルヘシト雖當局者カ衆議院議員ヲ以テ機密ヲ保ツノ德ナキモノト認メサル以上相當ノ手段ヲ盡シテ答辯セラルヘキモノナリト信ス而モ尙答辯スル能ハストセハ議員ヲ目シテ國家ノ機密ヲ守リ得サルモノト見做サルノ意カ若然リトセハ當局者獨リ其ノ德ヲ有シテ議員之ヲ有セサルノ理由ヲ明解セラレヨ

以上十七項ニ對シ必ス各項毎ニ御答辯アラムコトヲ要求ス
右及質問候也

結核病豫防ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十五年三月二十二日

提出者 山根正次

贊成者 石田孝吉

外四十七人

結核病豫防ニ關スル質問主意書

一 帝國ニ於ケル結核病ハ年々増進スルノ狀アリ而モ之ニ對シテ未タ何等適當ナル豫防設備ヲ爲サル政府ノ所見何如

二 歐洲各國ニ於テハ學術上並實際上ノ豫防設備ニ依リテ結核病ハ漸次減少スルノ狀アリ政府ハ此事實ニ對シテ精確ナル實地調查ヲ爲シタルコトアリヤ

三 結核病ノ蔓延ハ產業學術兵力ノ原基タル國民體力ニ對スル損害莫大ナルニ關セス政府ハ單ニ豫防命令ヲ發セシコトアルノミニシテ何等豫防機關ヲ設ケス其理由何如

五 内務省衛生局長ハ本院委員會ニ於テ財政困難ノ爲メ結核病ノ豫防設備ヲ爲サト明言シタルカ政府ハ財政ノ現狀ハ果シテ何レノ日ニ於テ結核病ノ豫防設備ヲ得ルニ到ルト信スルカ又國民ノ結核病ニ麁ル者益增加スルモ財政ノ都合上之ス豫防機關ヲ設ケサル決心ナリヤ政府ノ所見何如
小學校並其他ノ學校教員ニシテ結核病罹リタル者アルトキハ兒童及生徒ニ傳染セシムルノ危險アリト信ス政府ハ結核病罹レル教員ニ對シテ何等ノ處置ヲ爲セリヤ

四二五

六 工場監獄官公衛等ノ職員職工在監人等が結核病ニ罹ルヘキ危険ヲ豫防スル方法トシテ何等ノ用意アリヤ其豫防實行方法ハ何如

七 政府ハ傳染病研究所ニ於テ結核病治療剤ヲ製造セシメツ、アリヤ又無蛋白「ツベルクリン」ニ關シテ如何ナル研究應用ヲ爲セルカ又該品應用上ノ成績ハ何如

○議長(大岡育造君) 是ヨリ會議ヲ開キ御諮詢ヲ致シマス、藥品營業藥品取扱規則中改正法律案ハ提出者綾部惣兵衛君ヨリ撤回ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

法律、經濟ニ關スル事項ハ可ナリ書イテアリマスケレドモ、是マテノ教育ノ方針ト云フモノハ全ク此政治的部面カラ離隔シタ憾ガアルノテアリマス、ソコテ此方針ヲ願クハ政府ヲシテ改メタイト云フノガ、本員ノ希望デアツテ、此質問書ヲ提出シタル所以デアルノデアリマス、國ニ於キマシテハ甚ダ必要デアルト私ハ思フノテアリマス、是ハ何人モ異論ノナイコトデアラウト思フ、或ハ國ニ依ツテハ國民科ト云フモノヲ特設シタ國モアル、即チ佛蘭西ノ如キ、或ハ伊太利ノ如キモ、特設シテアルト云フコトニ承ツテ居リマス、其外ノ各國ニ於テハ此國民科ハ特設シテ居ラヌケレドモ、併ナガラ歴史ノ上ニ結合シ、或ハ算術ノ上ニ結合シ、地理ノ上ニ結合シ、修身科ノ中ニ結合シテ、頻リ此政治上ノ智識ヲ兒童ニ教養シテ居ルト云フコトニ承ツテ居リマスルノデアリマス、本邦ニ於キマシテモ前申述ベタ通り新シイ教科書ニハ隨分は總モノノモノニ結合シテ教ヘテ居ルヤウデアリマスガ、トウシテモ是バ立憲國ニ於テ、健全ナル政治的思想ヲ養成スルニハ甚ダ必要ナモノデアルト信ズルノテアリマス、殊ニ日本ニ於テ私ハ學校ノ教育が甚ダ必要デアルト云フ感ヲ持ツノハ、日本ノ古來ノ教育方法ヲ考ヘテ見ルト、士族ハ多少違ツテ居リマシタケレドモ、農工商ノ部ニ至リマシテハ殆ド政治上カラ離隔シテ一切政治的智能ト云フモノヲ養成スルコトニ努メナカタノアル、嗇ニ努メナバカリテハナク、此政治的方面カラ努力メテ離隔シタモノノアル、即チ農工商ノ教科書——維新前ノ農工商ノ教科書ヲ見マスルト、如何ナルコトヲ教ヘテアルカ、農家ニ對シテハ農家手習狀、又ハ米買狀、或ハ町人ニ對シテハ商賣往來ト云フモ其以外ニ於テ要領ヲ得タナラバ質問演說等ヲ致スヤウナ考ハナカツタノデアリマス、ソレデ治安警察法ノ改正法律案ノ節ニ彼ノ案ト多少關聯シテ居リマスル故ニ、文部省ノ政府委員ノ出席ヲ請ヒマシテ、イロイロ質問シテ見マシタガ、如何ニモ要領ヲ得ナリノテ質問者ノ質問ノ趣意ニハ贊成スルケレドモ、之ヲ決行スルト云フコトハ少シ吟味ヲ要スルコトアルカラト云フノテ、ドウシテモ其要領ヲ得タル答辯ヲ得ナカツタノデアリマス、ソレ故ニ已ムヲ得ズ本會ニ此質問書ヲ提出シタノデアリマスガ、質問ノ要旨ハ「各學校及其他ノ各團體ニ於テ適當ノ時機譬へ憲法發布ノ日卽チ一月十一日若クハ總選舉ノ時期ノ如キニ憲法發布ノ詔勅ヲ捧讀シ學生一般其他臣民ヲシテ聖慮ノ存スルトコロヲマシタガ、至極宜ササウナコトアルカラ、イブレ吟味ヲシャウト云フコトニテ居タノデ、知ラシムルハ國民ノ政治的智德ヲ涵養スル上ニ至大ノ效果アルコトヲ認ム政府ハ之ヲ決行スルノ意ナキヤ」是タケノコトデアリマス、頗ル簡明ナ是ハ質問ニアリマシテ、此事ハ第二十六議會ニ於テ小松原文部大臣ノトキニ豫算委員ノ分科會ニ於テモ質問ヲ致シマシタガ、至極宜ササウナコトアルカラ、イブレ吟味ヲシャウト云フコトニテ居タノデ、昨年ニ至リテ初等教科書中政治、法律、經濟等ノコトヲ増加スルノ建議案ヲ本員カラ提出シテアリマシタガ、此時ノ委員會ニ於ケル岡田文部次官ノ答辯モ、ヤハリ贊成スルトシテ、彼ノ有名ナル集會條例ノ如キモノヲ發布シテ、折角政論ノ勃興シ初メタモノヲ終ニ撲滅シタノデアル、ソレヨリ以來ハ甚シク此政治上ノ思想が衰ヘテ、苟モ政治ヲ口ニスル者ハ良民ノ部類ニ入レナイト云フ位ノ有様ヲ呈シテアルノテアル、其弊害が今日最も盛ンデアル、此ノ如キ國民ノ思想ヲハ到底此健全ナル立憲政體ノ美ヲ濟スト云フコトハ、私ハ勿論困難デアラウト思フ、今日此國會が開ケマシテ、最早二十有餘年ノ久シキニ瓦リマスケレドモ、健全ナル政治的國論ト云フモノ私ハドウモ見ルコトが出来ナイノヲ憾ムノデ、ドウシテモ立憲政治ハ健全ナル政治的輿論ノ上ニ確立スルコトナケレバ、眞ノ運用が出來ナイト云フコトハ、ソコテモナインデアリマスガ、悲イカナ政治的輿論が政治上ニ於ケル眞ノ輿論ヲ今日ハ誠ニ見出スコトニ因難ヲ感ズルノデアル、此ノシキニ瓦リマスケレドモ、健全ナル政治的國論ト云フモノ私ハドウモ見ルコトが出来ナイノヲ憾ムノデ、ドウシテモ立憲政治ハ健全ナル政治的輿論ノ上ニ確立スルコトナケレバ、斯ク申シマスト政治上ノ智識ヲ涵養シヤウトスルコトヲスレバ、更ニ此國民ヲシテ徒ニ政治ニ狂奔セシムルヤウナ弊害ガアルト云フ議論ヲ爲ス人モアツテ現ニ治安警察法ノ委員會ノ節、サウ云フ意味ノ演説ヲ政府委員カラセラレタヤウニ存ジマスルガ、併シ是ハ

教へヤウニ依ル、即チ教ヘル者が穩健ナル方法ヲ以テ之ヲ教養スレバ、決シテ其輕忽ナ

ル政治思想ト云フモノハ私ハ根絶スル思フ、殊ニ此政治上ノ教養ヲ宜ク國民ニ普不

カラシメテ、之ヲ涵養シテ置ケバ危險ナル思想ナルモノハ起ル氣遣ハナイト信ズルノデアル、

詰リ教ヘザル民ヲシテ政治ヲ爲サシムルト云フコトハ、如何ニモ此危險思想ノ危險ヨリ

一層ノ危險ヲ感ズルノデアリマス、此ノ如キ次第ニアツテ今日ヨリハ一層此教育ノ方針ヲ

政治ノ部面ニ注ガレンコトヲ私ハ希望スルノデアル、政府が新ニ編マレタトコロノ教科書ノ

中ニ高小學修身書第三學年用ト云フモノガアリマスガ、是ニハ一番初メニ教育ニ關スル

勅語ガアリマス、其次ニ戊申詔書ガ書イテアリマス、固ヨリ此二詔勅ハ吾ミ臣民ノ遵奉ス

ベキ金科玉條デアツテ、固ヨリ遵奉シナケレバナラヌモノデアル、眷々服膺シテ誤ラザルベキ

モノデアリマスカラ、教科書ノ初メニ之ヲ掲ゲテ、サウシテ國民ヲシテ聖慮ノ存スルトコロ

ヲ知ラシムルト云フコトハ、無論必要ニアリマスガ、併ナガラ是ト相竝シテ彼ノ憲法發布

ノトキノ勅語、是又立憲國民ヲ教ヘルニ於テハ必要缺クベカラサルモノデアル、教育勅

語ニ於キマシテハ無論國憲ヲ重シ、國法ニ從ヒト云フ句モアツテ、勿論立憲國民タル

ニ必要ナル注意ヲ採ラナケレバナラバ、戊申詔書モ同シコトデアル、ヤハリ戊申詔書ノ御

レガタヌニヲ省イタト致シマスルナラバ、戊申詔書モ同シコトデアル、ヤハリ戊申詔書ノ御

趣意ガ教育勅語ノ中ニ敷衍サレテアルノデアリマスガ、併ナガラドウモ此戊申詔書ヲ茲

ニ掲ケ、又戊申詔書ヲ降サレマシタ聖慮ハ畏多クモ之ヲ恐察シ奉ルニ餘リアリト信ズル

ノデアリマス、即チ是ハ教育勅語ニ敷衍サレテアルカ、特ニ此ノ如ク詔書ヲ降サレテ國民

ヲシテ此思想ヲ涵養セラル、ノデアルガ、詰リ是ハ產業ノ民ヲ作ルニハドウシテモ戊申詔

書ガ必要アルニ相違ナイ、果シテ然ラバ立憲國民即チ作ル上ニハヤハリ此

憲法發布ノトキノ詔勅ヲ捧讀スルト云フコトハ、ドウシテモ必要ナコトデアツテ、ヤハリ教

科書ノ前ニ「ノ詔勅ヲ掲ゲルナラバ、是モヤハリ相竝シテ憲法發布ノ詔勅ヲモ掲ゲテ、

サウシテ吾ミ臣民若ク子弟ヲシテ之ヲ捧讀シ、眷々服膺セシムベキコトヲ獎メルト云フコ

トハ甚ダ必要ナコトデアツテ、今日ノ日本ニ於ケル缺點ハ即チ政治的智識ノ缺點ヲ補

フ上ニハ至大ノ效果ノアルコト、信ズルノデアル、此事ニ付ヤマシテハ過日治安警察法ノ

委員會ノトキニ文部當局者ニ質問ヲ致シマシタガ、質問者ノ趣旨ニハ全部贊同ハスル

ガ、之ヲ捧讀セシムルト云フコトニハ、イヅレ取調ベテ見ナケレバ返事ガ出来スト、

斯ウ云フコトデ、是ハ甚ダオカシイコトデアツテ、固ヨリ陛下ハ國民若クハ吾ミノ子弟

ニ害ノアルベキ詔勅ヲ降シ賜フ苦ガナイノデアル、即チ立憲國民トシテ皆知ラザルヲ

得ズ、又之ヲ遵奉せザルヲ得ザルモノデアツテ、是ハ時ニ觸レ、事ニ應ジテ、之ヲ捧讀シテ、

サウシテ聖慮ノ存スルトコロヲ知ラシムルト云フコトガ甚ダ必要ナコトデアル思フノデアル

ソコデ文部省ノ側カラ申シマスレバ適當ノ時期、最モ適當ノ時期ハ即チ一月十一日デ憲

法發布ノ日デアツテ、サウシテ是ハ紀元節デアル、此日ニ學生ヲ學校ニ集メテ、此憲法

發布ノ詔勅ヲ捧讀スル、若クハ此勅語ノ中ニ含シテアルトコロノ意味ヲ詳シク説開カセ

ルト云フが如キ方法ヲ執ラル、コトハ、ドウシテモ必要デ、況シテ内務省ノ側カラ申シマシ

タナラバ、青年團體トカ其他ノ團體ニ向シテ、ヤハリ適當ノ時期所謂此一月十一日ノ如

キ、若クハ私ハ此總選舉ノ間際ノ如キ、名村役場ニモ町村役場ニモモ集メテ、サ

ウシテ此詔勅ヲ捧讀シテ詔勅ノ聖意ノアルトコロヲ示スト云フが如キコトハ、甚ダ切要ナ

ル事柄デアル、トスウ信ズルノデアル、是等ノコトハドウシテ政府トシテ爲スベキコトデアツ

テ、又爲サミルベカラザルコトデアル思フ、以上申述ベタノガ質問ノ大要ニアリマスガ、

果シテ之ヲ決行スル意ガアルカナイカ、若シ決行スル意ガナイトスルナラバ、決行スル意ノ

ナイ理由即チ此ノ如キモノヲ捧讀スベカラザル理由ヲ明瞭ニ示サレンコトヲ私ハ希望スルノデアリマス(拍手起ル)

〔文部大臣長谷場純孝君登壇〕

○文部大臣(長谷場純孝君) 御答致シマス、今村松君ヨリ御述ベニナツタ質問ノ趣旨ニ對シマシテハ慎重ニ今考慮調査ヲ爲シツ、アルノデゴザイマス、一言加ヘテ置キマスガ、既ニ中學校ノ教科書中ニハ憲法發布ノ御詔勅モ教ヘツ、アルノデゴザイマス、尙村松君モ御述ベニナツタが如ク、四月一日ヨリ改マルトコロノ新教科書中ニハ即チ政治的意味ノコトヲ從來ノ教科書ヨリモ多ク加ヘテアル次第ニアリマス、唯此質問ノ御趣旨ニ對シテハ慎重ニ今考慮中デゴザイマスカラ、此段御答致シテ置キマス(拍手スル者アリ)○議長(大岡育造君) 殉難者ヲ靖國神社ヘ合祀ノ請願ニ關スル質問、村松恆一郎

君

(村松恆一郎君登壇)

(拍手起ル)

○村松恆一郎君 本質問ハ極メテ重大ナル事柄デハアリマスルガ、質問ノ主意ハ極メテ簡單ナコトデアリマスカラ、極ク手短ニ此質問ノ趣意ダケヲ申述ベタイト思フ、此事ハ國民ノ大義名分ニ關スル非常ナ事實ハ重大ナルコトデアリマシテ、而モ所謂藩閥ノ徒ガ如何ニ偏頗不公平ナコトヲ爲シタカト云フコトガ、之ニ依シテ證據立テラル、トコロノモノデアリマス、故ニ此事ハ是非質問ヲ致サナケレバナラヌノデアリマシテ、現ニ昨年モ本員等が質問書ヲ出シタノデアリマシタガ、政府ハ極メテ不得要領ナル答辯ヲ致シテ、今尙此事ノ解決が著カナイタメニ已ムヲ得ズ再ヒ質問書ヲ提出致シタ譯デアリマス、其事柄ハ何デアルカト申シマスト云フト、丁度諸君モ御承知ノ如ク文久二年ノ四月ニ於ケル伏見ノ寺田屋事件、是ガドウニ云フコトデアルカト云ヘベ、申スマテモナイノデアリマスガ、詰リ此薩州ノ脫藩ノ士ガ各藩ノ浪士ト共ニ島津久光公ヲ途中ニ擁シテ、大ニ何カ仕事フヤリタイ、即チ此時ノ關白ノ九條鈴忠及所司代ノ酒井忠義ト云フモノヲ襲ウテ、サウシテ事ヲ京師ニ舉ケヤウト云フ企シタノデアリマシテ、此事ヲ島津久光公が聞イテ大ニ憂慮シテ、之ヲ鎮撫スルト云フコトニ致シテ、同時ニ朝廷ニ於テモ之ニ對シテ一ノ勅諭ガ降ツタノデアリマス、ソレハドウアルカト申シマスト

浪士共蜂起不穩企有之僕處島津和泉取押候旨先以觀感思食候別而於御膝元不容易儀於發起者實ニ被惱宸襟候事ニ候間和泉當地滯在鎮靜有之僕様思食候事

斯ウ云フ勅諭が降ツテ居リマスルノデ、久光公ハ大ニ此浪士ノ暴舉ヲ鎮撫スルガタメニ、詰リ現在生存ステ居ルトコロノ奈良原男爵其他ノ九人ノ者ヲ遣シテ、之ヲ鎮撫ニヤツタコロガ、其浪士ノ中ノ有馬新七始メ多數ノ者ハ大ニ之ニ反抗ヲ致シテ、ソレガタメニ非常ナル争鬭ヲ起シテ、其結果此道島五郎兵衛ト云フモノガ此處デ戰死ヲ致シタ、其外ニ永田佐一郎ト云フモノハ什長ノ職ニ在リナガラ其部下ノ有馬等ガ暴舉ヲ企テタモノデアル、然ルニ彼ノ有馬新七其他ノ人ミハ詰リ朝廷ノ御趣意ニ反シテ暴舉ヲ企テタモノデアル、然ルニ其者等ハ疾クニ既ニ靖國神社ニ合祀ヲセラレタノデアルガ、勅命ヲ奉シタル久光公ノ命シ、事ヲ未發ニ防ぐ能ハズシテ此ノ如クニ至ラシメタト云フノハ、甚ダ自分等ノ耻ずルトコロデアルト云フノデ、藩邸ニ歸ツテ自殺ヲ致シタ、而シテ其當時暴舉ヲ企テタトコロノ彼ノ馬新七其他ノ人ミハ詰リ朝廷ノ御趣意ニ反シテ暴舉ヲ企テタモノデアル、然ルニ其者等ハ疾クニ既ニ靖國神社ニ合祀セラレタノデアルガ、勅命ヲ奉シタル久光公ノ命シ、事ヲ未發ニ防ぐ能ハズシテ此ノ如クニ至ラシメタト云フノハ、甚ダ自分等ノ耻ずルトコロデアルト云フノデ、藩邸ニ歸ツテ自殺ヲ致シタ、而シテ其當時暴舉ヲ企テタトコロノ

べ、元治元年ノ七月十九日ノ彼ノ砲御門ノ事件ニアリマス、是ハドアルカト云ヘバ、是亦御承知ノ如ク長藩ノ國司信濃、益田右衛門佐、福原越後ト云フモノガ所謂君側ノ奸ヲ除クト云フタメニ即チ會津老公ヲ襲フト云ガタメニ京師ニ多數ノ兵ヲ率ヰテ乘込シテ、其結果遂ニ宮門ニ向ツテ發砲ヲシタルデアル、而シテ其當時會津ト云フモノが忠アアルカ奸アアルカト云フコトハ別問題トシテ、既ニ角刺合ヲ奉ジア宮闕ヲ守シテ居ラタモノアル、尙各藩ノ士モソレト共ニ朝廷ノ命ヲ奉ジテ宮門ヲ守シテ居ラタノデアル、然ルニ君側ノ奸ヲ除クト云フ名ノ下ニ免ニ角其心術ノ正非ハ別問題トシテ、官軍、其官軍ニ向ツテ砲火ヲ開イテ、併セテ宮闕ニ向ツテ發砲ヲシタルト云フコトハ確ニ是ハ賊軍ト云ハナケレバナラヌノデアル、大ナル不敵ト云ハナケレバナラナイノデアル、然ルニ是モ亦其當時此長藩ノ所謂暴舉ヲ爲シテ宮門ニ發砲シタル者ノ方が種々ナル理由ヲ以テ靖國神社ニ合祀セラレ、或ハソレノ追賞ヲ行ハレタノデアリマス、其當時鹿兒島、會津、幕府、桑名、彦根、福井等ノ朝命ヲ奉シテ長軍ヲ防イダタメニ戰死シタル者ノ方ハ唯彼ノ長州ノ軍ニ反抗シタト云フコトヲ以テ、今尙靖國神社ニ合祀セラレナイノデアリマス、是ハ詳シタ申上グナクテモ事實ハ御承知アリマスカラ略シテ置キマスガ、斯様ナ事柄デ如何ニモ偏頗不公平ト云ハナケレバナラナイ、凡ソ國家ニ大切ナルモノハ何デアルカト云ヘバ、大義名分ヲ正シ、順逆正邪ノ區別ヲ明カニスル程、大切ナモノハナインノデアル、然ルニ今ノ如ク此ニシテ事件ハ所謂暴舉ヲ企テ、或ハ禁闕ニ向ツテ發砲シタル逆臣賊徒ハ、疾ク既ニ追賞或ハ合祀ノ榮ヲ受ケテ居リマス、勅命ヲ受ケテシニミテ鎮撫シ、之ヲ防イダ者、ソレガタメニ生命ヲ落シタ者ハ、今尚追錄セラレズ尙今何等褒賞サレルトコロガナイト云フノハ、是程大義名分ヲ誤リテ此事件ハ明カニスルコトヲ以テ、何故カ議會ニ對シテ此ス、此事ニ付テハ明治四十二年二月ニ是等ノ戰死シタル人ミヲ靖國神社ニ合祀シテ貰ヒタトイフコトノ請願が兩院ニ出テ居リマシテ、兩院デハ御承知ノ如ク是が採擇二年間ノ専門等ハ昨日ノ三月付ヲ以テ此質問ヲシテ置キマシタコトヨロガ、政府ハ之ニ向ツテドウ云フ答辯ヲシタカト云フ「政府ハ本件ハ其關係スル所重大ナルモノアルヲ以テ今尙調査中ニ屬ヘ」ト云フ答辯ダケアツタノデアリマス、請願が採擇セラレテノデアル、是ニ於テ本員等ハ昨日ノ三月付ヲ以テ此質問ヲシテ置キマシタコトヨロガ、政府ハ之ニ向ツテドウ云フ答辯ヲシタカト云フコト「政府ハ本件ハ其關係スル所重大ナルモノアルヲ以テ今尙調査中ニ屬ヘ」ト云フ答辯ダケアツタノデアリマス、請願が採擇セラレテノデアル、是ニ付テハ此事件ハ政府ハ何等ノ處置ヲ執ラナイノデアリマス、併ナガラ此事件柄ダルヤ所謂長州ノト云フ或ル一部ノ人ニ付テハ、此質問ハ非常ニ痛手デアルノデアリマス、故ニ昨年ノ質問ニ對シテ當時ノ内閣ガ之ニ明瞭ナル答辯ヲシナカイノハ、或ハ彼トシテハ已ムヲ得ナカッタカモ知レヌノデアリマスガ、今日ノ内閣ハ之ニ向ツテ十分ナル答辯ヲ爲シ得ルアリマスガ、今尙政府ハ何等ノ處置ヲ執ラナイノデアリマス、併ナガラ此事件柄ダルヤ所

謂長州ノト云フ或ル一部ノ人ニ付テハ、此質問ハ非常ニ痛手デアルノデアリマス、故ニ昨年ノ質問ニ對シテ當時ノ内閣ガ之ニ明瞭ナル答辯ヲシナカイノハ、或ハ彼トシテハ已ムヲ得ナカッタカモ知レヌノデアリマスガ、今日ノ内閣ハ之ニ向ツテ十分ナル答辯ヲ爲シ得ルアリマスガ、今尙政府ハ何等ノ處置ヲ執ラナイノデアリマス、併ナガラ此事件柄ダルヤ所

○議長(大岡育造君) 帝國國防ニ關スル質問——澤來太郎君

(澤來太郎君登壇)

○澤來太郎君 諸君、私ハ諸君ト共ニ平生ニ於テ窓知ラウト思ツテモ、知ル能ハザル立憲政下ニアルマジキ祕密ノ城廓トナシテ居リマス、國防ニ關スル件ニ付ズ、十七項ノ質問ヲ試ミヤウト思ヒマス、併ナガラ會期ハ切迫シ、且種々ナル問題ノ輻湊シテ居ル場

(拍手起ル)

合アリマスルカラ、此十七箇條ニ對シテ悉ク説明ヲ加ヘルが如キ野暮ナコトハ致シマセス、又此各項ヲ讀ムニ於テハ今ノ陸軍大臣、海軍大臣ノ學力デハ説明ヲ加ヘズトモ、註釋ヲ施サズトモ、恐ラク御分リニナルコトダラウト思フノアリマス、此問題ハ言フマテ居ル巨額ノ經費ヲ消費スルコロノ此城廓ニ議會モ議員モ入ルコトガ出來ヌト云フガ如キニ至リマシテハ、實ニ奇怪ナルコトデ、立憲治下ニアルマジキ僻コトナリト私ハ斷言セザルを得ヌノアリマス、試ミニ本年ノ歲出總計ヲ見ルニ總計ハ五億七千二百八十萬圓トナシテ居ル、是ニ由リ之レヲ觀レバ我軍事上ニ於ケル行政費竝ニ國防費ナルモノハ總支出總計ニ於ケル殆ド六分ヲ占メテ居ルノデゴザイマス、此六分ヲ占ニ絕對ノ祕密トシテ、而シテ議會ヲシテ之ヲ観ハシメズ、又議員ヲシテ之ヲ知ラシメスト云フが如キニ至リマシテハ、實ニ奇怪ナルコトデ、立憲治下ニアルマジキ僻コトナリト私ハ斷言セザルを得ヌノアリマス、試ミニ本年ノ歲出總計ヲ見ルニ總計ハ五億七千二百八十萬圓トナシテ居ル、是ニ由リ之レヲ觀レバ我軍事上ニ於ケル行政費竝ニ國防費ナルモノハ總支出總計ニ於ケル殆ド六分ヲ占メテ居ルノデゴザイマス、此六分ヲ占ニ絕對ノ祕密トシテ、而シテ議會ヲシテ之ヲ観ハシメズ、又議員ヲシテ之ヲ知ラシメスト云フが如キニ至リマシテハ、實ニ奇怪ナルコトデ、立憲治下ニアルマジキ僻コトナリト私ハ断

ナシト云フコトニ立至ルノデゴザイマス、ソレ故ニ私ハ此第一項ニ於テ「軍事機密ノ性質範圍立ニ其ノ事項ヲ明示セラレヨ」ト云フコトヲ掲ゲテ置キマシタ、以下是ヨリ此質問條項ダケラ此壇上ニ於テ讀上ケルコトニ致シマス、一「軍事機密中絶對のモノト比較的のモノトノ區別ヲ明示セラレヨ」、二「帝國國防ノ方針如何」、四「陸軍國防計畫ノ方針如何」、五「海軍國防計畫ノ方針如何」、六「國防上陸海軍ノ權衡ヲ失セバ非スヤ若然ラストセハ其ノ理由ヲ明示セラレヨ」、七「今後陸軍擴張ノ必要アリヤ若アトスレハ其ノ理由ヲ明示セラレヨ」、八「海軍充實ノ必要ノ理由竝其ノ充實ノ標準程度ヲ明示セラレヨ」、九「陸軍十九箇師團ヲ設備シ積極的二箇年兵役制ヲ採用シ且後備服役年限ヲ延長シタル理由如何」、十一「朝鮮防衛ノ方針竝之ニ要スル兵備ノ程度ヲ明示セラレヨ」、十二「滿洲ニ於ケル軍事關係竝之ニ伴フ兵備ノ程度如何」、十三「臺灣防衛ノ方針如何」、十四「日清日露兩戰役ノ經驗ニ徵シテ陸軍カ戰事一箇師團若ハ一人宛ニ要スル一日ノ經費概算幾許」、十五「日清日露兩戰役ノ經驗ニ徵シテ海軍カ戰事一箇師團ニ要スル一日ノ經費概算幾許ナリヤ」、十六「當局者ノ徵收人員竝平時人員及戰時兵力幾行的擴張ハ國力トノ調節ヲ観クノ虞ナキア若無シトスレハ其ノ理由ヲ明示セラレヨ」、十七「以上ノ質問事項中ニハ素ヨリ當局者ノ所謂軍事機密ニ屬スルモノアルヘシト雖宛ニ要スル一日ノ經費概算幾許ナリヤ」、十八「當局者ノ所謂海陸兩軍ノ併守リ得サルモノト見做サルノ意カ若然リトセハ當局者獨リ其ノ德ヲ有シテ議員之ヲ有セサルノ理由ヲ明解セラレヨ」、此中チヨット此滿洲ニ於ケル軍事關係ニ付テ殊ニ當局者ヨリ當局者カ衆議院議員ヲ以テ機密ヲ保ツノ德ナキモノト認メサル以上相當ノ手段ヲ盡シテ答辯セラルヘキモノナリト信ス而モ尙答辯スル能ハストセハ議員ヲ曰シテ國家ノ機密ヲ又原端ニ没スルト云フガ如キ、一望ノ無際ノ大平原デアルノアルノアル、嘗テ日露戰役ノ當時ニ於テ、日露二百万ノ兵ヲ容レテ、尙且何處ニ兵隊ガ居ルカト云フガ如キ大曠野デアルノデアル、斯ル大平野ニ於テ此滿洲ヲ防衛セントスルニハ、果シテ如何ノ兵備ヲ以テ之ニ當ラントスルノデアルカ、此事ヲ御聽シタインデアル、ソレカラ若シ是等ノ條項ニシテドウシテモ軍事上ノ機密デアルカラシテ、明答ヲ與ヘルコトが出來ヌト云フナラベ、更ニ私ハ初メニ翻テ此機密ノ範圍ナルモノヲ明カニセラレントコトヲ望ムノデゴザイマス、本員想フノニ此軍事機密ノ範圍ト云フモノハサウ龍大ナルモノデハナイト思フ、試ミニ其例ヲ舉ゲレバ所謂戰時ニ於ケル軍隊ノ編成、其次ハ戰時ニ於ケル兵器、其他ノ軍需ノ品量、其次ハ動員計畫竝ニ動員令、其次ハ軍隊ノ行動ニ關スル動員計畫、其次ハ兵器ノ威力竝ニ技術、次ハ防禦營造物及作戰計畫、次ハ軍事偵察及牒報類等ノモノニ外ナラスト思フ、若シ當局者ニシテ此範圍以外モ尙且機密ナリ祕密ナリト云フニ至ラバ、少シ所謂ハレナキトニロノ主張ナリト云ハザルヲ得ヌノデアル、果シテ陸海軍當局者ハ此以上ニ尙機密アリト爲スカ、此以外ニ此機密ノ範圍ヲ擴大スルノ必要アリト爲スカ、此點ニ於テ特ニ御明答アランコトヲ望ムノデアル、次ニ十七項掲ゲテ置キマシタ如ク、若シ是等ノ質問ニ對シテドウシテモ機密アルカラ、答辯スルコトガ出來ヌト云フナラバ、國家ノ機密ナルモノハ獨り當局者ノミ知シテ、而シテ議會ト議員トハ之ヲ知ルノ必要ナシト云フノナルカ、又此機密ヲ知ラシムルト、動モスレハ此機密ヲ漏洩スルノ惧アリト云フナラバ、國家ノ機密ヲ守ルノ德ハ獨り當局者ノミ之ヲ有シテ、議員ハ之ヲ存セズト云フ理由ヲ明カニ御答アランコトヲ望ムノデアル、諸君、此國防上ノ方針、計畫ナルモノヲ明カニセズシテ、而シテ唯ニニ要スル經費ノミヲ要求スルト云フコトハ果シテ道理ニ達ヒタル議論ニアリマセウカ、本員想フニ甚ダ其理由ヲ得サルトコロノモノデアルト云ハザ

ルヲ得ヌノデアル、何故ナレバ是ニノ計畫はノ方針ナルガ故ニ、之ニ伴フコロノ經費ガ是ニ必要アルト云ウテ、即チ豫算ヲ以テ議會ニ要求スベキモノデアル、所ガ其方針計畫ナルモノヲ議會ニ知ラシメズ、又議員ニ知ラセズシテ、唯ニニ要スル經費ノミヲ要求スルト云フガ如キニ至リテハ、是亦立憲治下ニアルマシキ非立憲ノ行動ト云ハナケレバナラヌト私ハ思フ、之ヲ例ヘテ云フナラバ一ノ會社ガ其設計目論見ナルモノヲハ一向不サズシテ所謂其目論見設計ナルモノヲハ祕密トシテ株主ニ知ラシメズ、單ニ株券ニ對スル拂込度ヲ明示セラレヨ」、十一「滿洲ニ於ケル軍事關係竝之ニ伴フ兵備ノ程度如何」、十二「臺灣防衛ノ方針如何」、十三「陸軍每年ノ徵收人員竝平時人員及戰時兵力幾行的擴張ハ國力トノ調節ヲ観クノ虞ナキア若無シトスレハ其ノ理由ヲ明示セラレヨ」、十四「日清日露兩戰役ノ經驗ニ徵シテ陸軍カ戰事一箇師團若ハ一人宛ニ要スル一日ノ經費概算幾許」、十五「日清日露兩戰役ノ經驗ニ徵シテ海軍カ戰事一箇師團ニ要スル一日ノ經費概算幾許ナリヤ」、十六「當局者ノ所謂海陸兩軍ノ併守リ得サルモノト見做サルノ意カ若然リトセハ當局者獨リ其ノ德ヲ有シテ議員之ヲ有セサルノ理由ヲ明解セラレヨ」、此中チヨット此滿洲ニ於ケル軍事關係ニ付テ殊ニ當局者ヨリ當局者カ衆議院議員ヲ以テ機密ヲ保ツノ德ナキモノト認メサル以上相當ノ手段ヲ盡シテ答辯セラルヘキモノナリト信ス而モ尙答辯スル能ハストセハ議員ヲ曰シテ國家ノ機密ヲ又原端ニ没スルト云フガ如キ、一望ノ無際ノ大平原デアルノアルノアル、嘗テ日露戰役ノ當時ニ於テ、日露二百万ノ兵ヲ容レテ、尙且何處ニ兵隊ガ居ルカト云フガ如キ大曠野デアルノデアル、斯ル大平野ニ於テ此滿洲ヲ防衛セントスルニハ、果シテ如何ノ兵備ヲ以テ之ニ當ラントスルノデアルカ、此事ヲ御聽シタインデアル、ソレカラ若シ是等ノ條項ニシテドウシテモ軍事上ノ機密デアルカラシテ、明答ヲ與ヘルコトが出來ヌト云フナラベ、更ニ私ハ初メニ翻テ此機密ノ範圍ナルモノヲ明カニセラレントコトヲ望ムノデゴザイマス、本員想フノニ此軍事機密ノ範圍ト云フモノハサウ龍大ナルモノデハナイト思フ、試ミニ其例ヲ舉ゲレバ所謂戰時ニ於ケル軍隊ノ編成、其次ハ戰時ニ於ケル兵器、其他ノ軍需ノ品量、其次ハ動員計畫竝ニ動員令、其次ハ軍隊ノ行動ニ關スル動員計畫、其次ハ兵器ノ威力竝ニ技術、次ハ防禦營造物及作戰計畫、次ハ軍事偵察及牒報類等ノモノニ外ナラスト思フ、若シ當局者ニシテ此範圍以外モ尙且機密ナリ祕密ナリト云フニ至ラバ、少シ所謂ハレナキトニロノ主張ナリト云ハザルヲ得ヌノデアル、果シテ陸海軍當局者ハ此以上ニ尙機密アリト爲スカ、此以外ニ此機密ノ範圍ヲ擴大スルノ必要アリト爲スカ、此點ニ於テ特ニ御明答アランコトヲ望ムノデアル、次ニ十七項掲ゲテ置キマシタ如ク、若シ是等ノ質問ニ對シテドウシテモ機密アルカラ、答辯スルコトガ出來ヌト云フナラバ、國家ノ機密ナルモノハ獨り當局者ノミ知シテ、而シテ議會ト議員トハ之ヲ知ルノ必要ナシト云フ理由ヲ明カニ御答アランコトヲ望ムノデアル、諸君、此國防上ノ方針、計畫ナルモノヲ明カニセズシテ、而シテ唯ニニ要スル經費ノミヲ要求スルト云フコトハ果シテ道理ニ達ヒタル議論ニアリマセウカ、本員想フニ甚ダ其理由ヲ得サルトコロノモノデアルト云ハザ

○海軍大臣（海軍大臣男爵齋藤實君登壇）
○議長（大岡育造君） 齋藤海軍大臣

○海軍大臣（男爵齋藤實君登壇） 唯今澤君ヨリ國防ニ關スルコトノ御質問がゴザイマシタが、其箇條モ大分多數ゴザイマス、又明瞭ニ御答致シマスルノニハ取調ベタ上ニ書面ヲ以テ御答致ス方ヲ便利ト考エマスカラ明カニ書面ヲ以テ御答辯ヲ致シマスカラ左様御希望ノ至ニ堪ヘヌノデアル

○海軍大臣（男爵齋藤實君登壇） 唯今澤君ヨリ國防ニ關スルコトノ御質問がゴザイマシタが、其箇條モ大分多數ゴザイマス、又明瞭ニ御答致シマスルノニハ取調ベタ上ニ書面ヲ以テ御答致ス方ヲ便利ト考エマスカラ明カニ書面ヲ以テ御答辯ヲ致シマスカラ左様御

○議長(大岡育造君) 日程第一、朝鮮總督府判事ノ恩給ニ關スル法律案、第一 読會ヲ開キマス、江木政府委員

看做ス

第一 朝鮮總督府判事ノ恩給ニ關スル法律案(政府提 第一 読會)

出貴族院送付)

朝鮮總督府判事ノ恩給ニ關スル法律案
朝鮮總督府判事ノ退職ハ官吏恩給ニ關スル法律案ノ適用ニ付テハ之ヲ退官ト

看做ス

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本法ハ本法施行前退職シタル者ニモ之ヲ適用ス

(政府委員江木翼君登壇)

○政府委員(江木翼君) 唯今議題ニ上リマシタ法律案ノ提出ノ理由ヲ簡單ニ説明致シマス、昨年ノ五月ニ朝鮮總督府裁判所令ノ改正ヲ致シマシテ、朝鮮總督府ノ判事ニ内地ノ裁判所構成法ト同様ニ退職制ヲ設ケタノデアリマス、然ルトコロ此退職判事ニハ官吏恩給法ニ依リマシテ恩給ヲ給スルト云フトコロノ規定ハ法律ノ制定ヲ必要ト致シマスルノデ、本案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス、内地ノ普通裁判所ニ於キマシテモ裁判所構成法ニ於キマシテ同様ノ規定ガアリマシテ此規定ニ倣フトコロノモノニアリマス、御審議ノ上協賛ヲ請ヒマス

○議長(大岡育造君) 日程第一、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ニ移リマス

第一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恒松隆慶君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ託セラレントコトヲ望ミマス
○議長(大岡育造君) 恒松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ナケレバ本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託スルコトニ

決シマシタ、日程第三、外國裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法中改正法律案第一 読會ノ

續、委員長宮古啓三郎君

第三 外國裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法中改 第一 読會ノ續(委員長)

(宮古啓三郎君登壇)

○宮古啓三郎君 外國裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法中改正法律案ト云フノ、委員

會會ノ經過ヲ御報告致シマス、是ハ唯今申シマシタ外國裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法

ト云フ恐ロシイ長イ名前ノ法律ニ對シテ改正ヲ加ヘントスルモノニアリマス、其改正ノ要

點ハ何デアルカト言ヒマスト、是ハ外國ノ裁判所カラシテ法律上ノ補助即チ證據調トカ

或ハ書類ノ送達トカ云フヤウナコトヲ嘱託シテ參リマシタ際ニ於テ如何ナル條件ガアレ

バ、其求メニ應ズベキヤト云フコトヲ明白ニ規定ヲ致シマスルコト、ソレカラ現行法ノ第

四條ト云フノヲ削除致シマシテ、法律上ノ補助ヲ爲スニ付テ相互條件が必要デアルト云

フヤウナムツカシイコトヲ止メシテ、更ニ極メテ其手續ヲ簡易ニシヤウト云フ趣意テアリ

マス、委員會ニ於キマシテハ之ヲ相當ト認メマシテ、滿場一致可決致シマシタカラ此段

御承知ヲ願ヒマス

○恒松隆慶君 本案ハ讀會ヲ省略シテ直ニ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恒松君動議ノ如ク、本案ハ讀會ヲ省略シテ直ニ可決確定スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ」と呼フ者アリ〕

第四 搞保附社債信託法中改正法律案 第一 読會ノ續(委員長)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ恒松君ノ動議ノ如ク決定致シマシタ、日程第四搞保附社債信託法中改正法律案、委員長熊本壽人君

第五 搞保附社債信託法中改正法律案 第一 読會ノ續(委員長)

(政府提出)

確定議(報告)

○熊本壽人君 本案ハ御承知ノ通リ政府ノ提出案デゴザイマシテ、極ク簡單明瞭ナル案デゴザイマスノデ、委員會ニ於テモ別ニ説明モ議論モナクシテ、滿場一致可決シタ次第デゴザイマス、全く鐵道及軌道等ト同シコトニ之ヲ信託法ノ第四條ノ第九ニ追加シタイト云フダケデゴザイマス、此段御報告致シマス

○恒松隆慶君 是モ極ク簡單ナ案デゴザイマスカラ讀會ヲ省略シテ直ニ確定セラレントコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恒松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ〕

第六 搞保附社債信託法中改正法律案 第一 読會ノ續(委員長)

(政府提出貴族院送付)

確定議

○吉植庄一郎君 此席カラ申シマス本案ハ昨年モ提出セラレマシタシ、既ニ此案ノ内容及貴族院ヲ經テ來タコトノ經過ニ付テハ官報號外ニ詳細述ベラレテアリマスカラ、既ニ諸君ハ此内容ハ詳シク御承知ノコト、考ヘマス、委員會ハ二回開キマシテ滿場一致

ニ關スル法律案、委員長吉植庄一郎君

鐵道又ハ船舶ト露國ノ鐵道又ハ船舶

トニ貨物ノ聯絡運送ニ關スル法律案 第一 読會ノ續(委員長)

(政府提出貴族院送付)

確定議

○吉植庄一郎君 此席カラ申シマス本案ハ昨年モ提出セラレマシタシ、既ニ此案ノ内容及貴族院ヲ經テ來タコトノ經過ニ付テハ官報號外ニ詳細述ベラレテアリマスカラ、既ニ諸君ハ此内容ハ詳シク御承知ノコト、考ヘマス、委員會ハ二回開キマシテ滿場一致

ニ關スル法律案、委員長吉植庄一郎君

鐵道又ハ船舶ト露國ノ鐵道又ハ船舶

トニ貨物ノ聯絡運送ニ關スル法律案 第一 読會ノ續(委員長)

(政府提出貴族院送付)

確定議

○吉植庄一郎君 此席カラ申シマス本案ハ昨年モ提出セラレマシタシ、既ニ此案ノ内容及貴族院ヲ經テ來タコトノ經過ニ付テハ官報號外ニ詳細述ベラレテアリマスカラ、既ニ諸君ハ此内容ハ詳シク御承知ノコト、考ヘマス、委員會ハ二回開キマシテ滿場一致

ニ關スル法律案、委員長吉植庄一郎君

鐵道又ハ船舶ト露國ノ鐵道又ハ船舶

トニ貨物ノ聯絡運送ニ關スル法律案 第一 読會ノ續(委員長)

(政府提出貴族院送付)

確定議

○吉植庄一郎君 此席カラ申シマス本案ハ昨年モ提出セラレマシタシ、既ニ此案ノ内容及貴族院ヲ經テ來タコトノ經過ニ付テハ官報號外ニ詳細述ベラレテアリマスカラ、既ニ諸君ハ此内容ハ詳シク御承知ノコト、考ヘマス、委員會ハ二回開キマシテ滿場一致

ニ關スル法律案、委員長吉植庄一郎君

鐵道又ハ船舶ト露國ノ鐵道又ハ船舶

トニ貨物ノ聯絡運送ニ關スル法律案 第一 読會ノ續(委員長)

確定議

- 恒松隆慶君 本案ハ唯今ノ委員長ノ明瞭ナル説明ガゴザイシタ、此場合讀會フ
省略シテ直ニ確定セラレントコトヲ望ミマス
○ 議長(大岡育造君) 恒松君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

鐵道又ハ船舶ト露國ノ鐵道又ハ船舶トノ貨物ノ聯絡運送 確定議
ニ關スル法律案

- 議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ本案ハ讀會ヲ省略シテ可決確定ニ決シマシタ
○ 恒松隆慶君 此場合日程ヲ變更シテ追加豫算ノ第二號即チ唯今第五ノ日程ノ
法案ノ議決ニ關聯シタ豫算案デゴザイマス、此場合委員長ヲシテ報告ヲナシメテ、直
ニ議題トナランコトヲ希望致シマス

- 議長(大岡育造君) 滿場御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

- 議長(大岡育造君) 御異議ガナイヤウデアリマス、直ニ委員長ノ報告ヲ求メマス

(第三號) 明治四十五年度歲入歲出總豫算追加案

- 〔野田卯太郎君登壇〕

- 野田卯太郎君 諸君、本案ハ唯今ノ決定ニナリマシタ日程法律案ノ結果、稅關ヲ
設クル費用一万三千何百圓デゴザイマス、是ハモウ申上ケルマデモナイ法律ノ結果テアリ
マスカラ滿場一致ヲ以テ委員會ハ可決致シマシタ次第ニアリマスカラ滿場御賛成アラン
コトヲ希望致シマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

- 議長(大岡育造君) 委員長ノ報告ニ御異議ハアリマセヌカ

- 恒松隆慶君 倘續イテ此場合日程ヲ變更シテ決算會議了ニナリマシタ、此場合委
員長ヲシテ報告ヲ爲サシメ、而シテ之ヲ議題トナサレントヲ希望致シマス

- 議長(大岡育造君) 恒松君ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

- 議長(大岡育造君) 御異議ガナイト認メマス、因テ決算委員長ノ報告ヲ求メマス、
上埜安太郎君

明治四十二年度歲入歲出總決算
(委員長報告)

- 明治四十二年度歲入歲出總決算及明治四十二年度各特別會計歲入歲出決算
中不法若ハ不當ナリト議決シタル事項左ノ如シ
明治四十二年度歲入歲出總決算

歲出二於テ
競爭入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件
租稅ノ徵收過ニ屬スルモノ一百一十一件
明治四十二年

- 競爭入札ニ付スヘキ物件ノ購買ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件
租稅ノ徵收過ニ屬スルモノ一百一十一件
歲出二於テ

當初入札ニ付シタル設計ノ内容ヲ變更シ且其ノ出來形設計ニ違反シタル粗造工事
ニ對シ工費ヲ仕拂ヒタルモノ一件
豫算ノ目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件
過度ノ工事ヲ施行シ豫算ノ目的ヲ達セサリシモノ一件
其ノ他不當ナルモノ一件

明治四十一年度各特別會計歲入歲出決算

歲入二於テ

事實ニ伴ハサル量減歩合ニ依リ鹽ノ賣渡ヲ爲シ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ一件
虛偽ノ擔保ニ依リ煙草ノ延納賣渡ヲ爲シタルモノ一件
鹽ノ密賣ヲ默許シ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ一件

其ノ他不當ナルモノ一件

歲出二於テ

虛構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件
名ヲ建物又ハ機械器具ノ維持補修ニ藉リ工場ノ擴張又ハ建物ノ新營ヲ爲シタルモ
ノ二件

政府ノ負擔トスヘカラサル經費ノ支出ヲ爲シタルモノ一件
設計ニ違反シ且粗造ナル工事ニ對シ工費ヲ仕拂ヒタルモノ一件

事實ヲ作爲シテ競争入札ヲ避ケ且豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件
既往年度検査未確定ニ屬セシ金額ニシテ検査確定ノモノニ於テ

低價ヲ以テ土地ノ拂下ヲ爲シタルモノ一件

鹽ノ密賣ヲ默許シ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ一件

虛構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件
其ノ他不當ナルモノ一件

明治四十一年度歲入歲出總決算

歲入經常部

第一款 租稅

第二項 所得稅

(一) 水代橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ(會計檢查院報告一)

一一、五二六・一一〇

八鐵道國有法第十三條ニ依リ阪鶴鐵道株式會社外三會社ニ仕拂ヒタル交付
金六拾貳萬六千參百拾壹圓六拾九錢ニ對シ所得稅ヲ徵收セサリシニ由ルモノニ
シテ該交付金ハ其ノ性質國債ノ利子ニ屬スルヲ以テ第一種所得稅ヲ課スヘキモノ
ナリ依テ本件ハ不當ナリトス

(二) 南稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ(會計檢查院報告二)

七八三・七六〇

ハ川端某ノ所得金額ヲ決定スルニ當リ貸家ノ所得壹萬千九拾圓參拾四錢ナ
ルヲ七千四百八拾八圓ト計算シタルニ由ルモノナリ

同稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
ハ齋藤某ノ所得金額ヲ決定スルニ當リ貸金ノ所得貳千九拾圓參拾四錢ナルヲ
貳百七拾八圓七拾壹錢ト計算シタルニ由ルモノナリ

(同) 稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

ハ藤田某ノ所得金額參千七拾貳圓貳拾四錢ヲ全部脫漏セルニ由ルモノナリ
右三件ハ當局者取扱上ノ錯謬ニ基因スルモノニシテ不當ナリトス

第三項 營業税

(二) 神田橋外百十九稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ(會計検査院報告三)

一八、五九六・二一〇

ハ淺野「セメント」合資會社外二百四十六會社ノ資本金額ヲ算定スルニ當リ現
實出資金額ニ依ラス契約出資金額ヲ以テ計算セシ不法ノ徵收ナルヲ以テ政府ハ
納稅者ニ還付スヘキモノトス

(四) 幸橋外一稅務署ノ徵收ニ係ル(會計検査院報告四)

四一九・三二一〇

ハ東京共產合資會社外二會社ニ對シ資本金額ヲ算定スルニ當リ現實出資金額
ニ依ラス契約出資金額ニ依リ計算シ資本金五百圓未滿ニ對シテ課稅セシハ營業
稅法第二條又ハ第四條ニ違背セル不法ノ徵收ナルヲ以テ政府ハ納稅者ニ還付ス
ヘキモノトス

歲 出

內務省所管

第十九項 海港檢疫費

第八款 府縣

(五) 福岡縣ノ支出ニ係ル(會計検査院報告一)

一一五五・七五〇

ハ船客消毒用本ネル浴衣百五十枚外八廉ノ代價ニシテ會計法第二十四條ニ依
リ競争入札ニ付スヘキモノナルニ右ヲ價額千圓ニ満サル程度ニ於テ數回ニ分チ隨
意契約ヲ以テ購入シタルモノニシテ不法ナリトス

歲出臨時部

第七款 北海道拓殖費

第一項 殖民事業費

(六) 北海道廳增毛支廳ノ支出ニ係ル(會計検査院報告二)

五四・七〇〇

ハ土地處分及整理費並ニ道路修繕費トシテ證明シタル貳百七圓五錢ノ内ニシテ
百五拾貳圓參拾五錢ハ明治四十一年度ニ屬スルモノナリ右ハ同廳雇岩城某カ
債主ニ交付スヘキ仕拂命令ヲ横領シ其犯跡ヲ敵ハシカ爲メ同一請求書ヲ偽造シ
再ヒ仕拂命令ヲ發行セシメ若ハ全ク虛構ノ事實ヲ作爲シテ其仕拂ヲ受ケタルモノ
ナリ依テ本件ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲシタル不當ノ支出ナリトス

大藏省所管

歲出經常部

(七) 本項ニ於テ名古屋稅務監督局ノ支出ニ係ル(會計検査院報告一)

八一・五〇〇

第六項 雜給及雜費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル
ハ明治四十二年三月中同局管内多治見稅務署員ノ出張旅費及臨時雇給料
トシテ證明シタルモノナリモ其實同稅務署長稅務署員屬正木某カ年度末ニ於テ豫
算ノ剩餘アルニ乘シ出張及雇入ノ事實ナキニ其事實アルモノノ如ク裝ヒ之カ旅費
及給料ノ仕拂ヲ受ケ翌年度ニ至リ旅費其他ノ經費ニ充用シタルモノナリ依テ不
當ナリトス

陸軍省所管

第一款 軍事費

第二項 虞費

(八) 第七師團經理部ノ支出ニ係ル(會計検査院報告一)

一一一〇・〇〇〇

ハ札幌衛戍病院ニ於テ燒爐用トシテ北海道豐平町中田某ヨリ購入セル薪四百
數代價八百八拾圓ノ内百數ニ相當スルモノナリ右ハ同人カ本品納入ニ際シ實數
三百數ナリシテ其積方ヲ井桁形トナシ空隙ヲ多カラシメ四百數ヲ納入シタルカ如
ク裝ヒタルニ對シ同病院經理委員陸軍二等藥劑官佐藤某同物品會計官吏陸
軍一等計手本多某ノ兩人立會ノ上之カ檢收ヲ了シ終ニ前掲金額ヲ騙取セラル
ルニ至リタルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタル不當ノ支出ナリトス

歲出臨時部

第五款 营繕及初度調辦費

第二項 建築費

(九) 臨時陸軍建築部本部ノ支出ニ係ル(會計検査院報告五)

六九、六一〇・〇〇〇

ハ同部ノ委託ニ依リ第一師團經理部ニ於テ施行セル陸軍被服本廠構内縫靴工
長養成所兵舍新築其他工事費ニシテ東京市鈴木某ノ請負ニ付シタルモノナリ本
件ハ設計ニ違反シ且ツ粗造工事ナルニ拘ラス之カ工費ヲ仕拂ヒタルモノニシテ不當
ナリトス

(十) 臨時陸軍建築部本部ノ支出ニ係ル(會計検査院報告六)

八、四二四・七〇〇

ハ同部ノ委託ニ依リ第一師團經理部ニ於テ施行セル横須賀衛戍病院看護卒兵
舍新築其他工事費ニシテ横須賀市飯塚某ノ請負ニ付シタルモノナリ本件ハ設計
ニ違反シ且ツ粗造工事ナルニ拘ラス之カ工費ヲ仕拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

(十一) 臨時陸軍建築部本部ノ支出ニ係ル(會計検査院報告七)

一、六五三・〇〇〇

第十三款 內國稅徵收費

第五項 旅費

(七) 本項ニ於テ名古屋稅務監督局ノ支出ニ係ル(會計検査院報告一)

(第九款 戰後整理費)

第四項 倉庫建築費

(十一) 第一師團經理部ノ支出ニ係ル(會計検査院報告八)

八東京陸軍兵器支廠板橋兵器庫及赤羽清涼火藥庫其他新築工事費並ニ赤羽火藥庫構内事務所移築其他工事費百五拾七萬參千四百拾九圓ノ内ニシテ本件ハ請負工事ノ契約ヲ爲スニ當リ當初入札ニ付シタル設計ノ内容ヲ變更シ且

ワ其出來形設計ニ違背シ施工粗造ナルニ拘ラス之カ工費ノ仕拂ヲ爲シタルモノニ

シテ不當ナリトス

(十三) 第一師團經理部ノ支出ニ係ル(會計検査院報告九)

四五〇九七・三八〇

八陸軍衛生材料廠植物粉藥再製室新築其他工事費並ニ備附器具機械等ノ代價ニシテ本費ノ支拂ト爲スヘキモノニアラズ依テ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計

注第十二條ニ違背シタルモノトス

第十二款 臨時軍事費

第一項 臨時軍事費

(十四) 陸軍會計監督部ノ支出ニ係ル(會計検査院報告十)

一九四・三四四・六九八

八韓國駐劄軍司令官宿舍及附屬家建築費五拾參萬五千四百參拾五圓貳錢

五厘ノ内ニシテ該宿舍ノ構造ハ宏壯華美ヲ盡シ將來維持修理等多額ノ經費ヲ要シ到底軍司令官宿舍トシテ軍用ニ適セス竣功後空シク不使用ニ屬スルノ狀態ニアリ抑該宿舍ノ建築ハ駐劄軍ノ配備ニ伴フ急要ノ施設トシテ之カ經營ニ著手シタルモノナルニ此ノ如キ過度ノ工事ヲ起シタルカ爲メ遂ニ他ノ用途ニ轉用スルノ已ムヲ得サルニ至リタルモノニシテ本費豫算ノ目的ヲ達セサルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

第十三款 韓國派遣部隊費
第一項 韓國派遣部隊費

(十五) 陸軍會計監督部ノ支出ニ係ル(會計検査院報告十一)

一八〇・〇〦〇

八郵便切手代トシテ證明シタルモノナルモ其實第六師團韓國派遣中出納官吏助手陸軍二等計手國津某カ明治四十二年十、十一兩月中引出切符及受領證書ヲ偽造シ實際購入セサリシモノヲ購入シタルモノノ如ク裝ヒ之カ代金ヲ騙取シタルモノナリ依テ本件ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタル不當ノ支出ナリトス

海軍省所管
歲出臨時部

第十八款 臨時軍事費

第一項 臨時軍事費

(十六) 佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル(會計検査院報告二)

四五八・一〇〇

ハ鎮海防備隊ニ於テ縣洞家屋移轉跡地平均工事費並ニ飛鳳洞外三洞ノ宅地買收及家屋墳墓移轉費トシテ仕拂ヒタルモノニシテ右ハ鎮海軍港經營ノ準備トシテ區畫地ノ整理及地平均等ニ要シタル全く特殊ノ工事費ニシテ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

農商務省所管
歲出經常部

第三款 森林費

第八項 事業費

(十七) 大阪大林區署ノ支出ニ係ル(會計検査院報告一)

九六・九五〇

ハ同署管内田邊小林區署御坊貯木場櫛積人夫賃トシテ支出シタルモノナルモ其實同貯木場主任森林主事川本某カ實際雇入レサル人夫ヲ雇入レタルモノ、如ク裝ヒ其賃金ノ仕拂ヲ受ケタルモノニシテ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノナルヲ以テ不當ノ支出ナリトス

明治四十二年度各特別會計歲入歲出決算

大藏省所管專賣局

第一款 專賣局作業收入

第一項 作業收入

(十八) 神戶專賣支局ノ徵收ニ係ル(會計検査院報告一)

一、〇五二・二六〇・〇九

ハ愛知縣東洋鹽業株式會社外一人ニ對シ明治四十二年度中賣渡シタル臺灣鹽五千六十二萬九千三百斤ノ代價ナリ抑臺灣鹽ハ神戶鹽務局ニ於ケル秤量ノ實績ニ依レハ運搬中ニ生スル減耗歩合ハ百分ノ十一ニ滿タナルニ本年度ニ於テモ百斤ニ付二十一斤卽チ百分ノ十六餘ニ當ル補足鹽ヲ交付セリ右過剩數量ヲ算出スルトキハ二百八十五萬斤ノ多キニ及ヒ之カ代金九萬貳千圓餘ノ損失ヲ國庫ニ來セシハ不當ナリトス

(十九) 專賣局池田製造所ノ徵收ニ係ル(會計検査院報告二)

九、一七三・七四〇

ハ香川縣阿讚煙草元賣捌合資會社代表社員宇條某ニ對シ明治四十二年四月ヨリ同年六月ニ至ル間虛偽ノ供託擔保ニ依リ延納賣渡ヲ爲シタル各種製造煙草代四萬八千九百五圓六拾錢ノ内本年度内之カ徵收ヲ了シタルモノナリ本件ハ當局者カ適當ナル注意ヲ缺キ前後數年ニ亘リ供託受領證書ニ變造アリシコトヲ覺知セス巨額ノ延納賣渡ヲ爲スニ至タルモノニテ不當ナリトス

(二十) 本項決算額ノ外撫養專賣支局ニ於テ收入ニ至ラサルモノ(會計検査院報告三)

五、七七一・二三二一

ハ同支局管内德島縣那賀郡見能林村大字答島村製鹽業者ニ於テ明治四十一年六月ヨリ四十二年七月ニ至ル間密賣シタル鹽百九萬九千八十斤ヲ一船定價ニ依リ計算シタル賣渡價格貳萬六千百參拾七圓六錢七厘ノ内ナリ本件ハ見能林出張所長以下製鹽業者ノ請託ヲ容レ若ハ之ト共謀シ數年ニ亘リ鹽ノ密賣ヲ

爲サシメ國庫ニ損失ヲ來シタルモノニシテ不當ナリトス

第二項 雜收入

(二十一) 專賣局東京第一製造所ニ於テ不納缺損ノ處分ヲ爲シタルモノ(會計檢査院報告四)

一、五五九・六〇〇

ハ明治三十七年十月乃至同三十八年五月ノ間ニ於テ場外作業擔當人久留某
カ朝日及山櫻用製造煙草原料トシテ交付ヲ受ケタル荒切煙草百一十二貫餘竝

材料品卷紙十萬枚ヲ其使用人ト共謀シテ横領シタルモノ、内使用ニ堪フヘキ差
押原料煙草二十貫餘ヲ除キタルモノニ對スル辨償金ニシテ本人無資產ノ爲メ遂ニ
不納缺損ニ歸シタルモノナリ本件ハ同製造所カ適當ノ注意ヲ缺キ右ノ被害ニ對シ
私訴提起ノ機ヲ失シ遂ニ國庫ノ損失ヲ來スニ至リタルモノナリ依テ不當ナリトス

歲 出

第一款 專賣局作業費

第七項 事業費

(二十二) 阪出專賣支局ノ支出ニ係ル(會計檢査院報告五)

一、一二四〇・〇〇〇

ハ明治四十一年六月同支局管内多喜濱出張所ヨリ波止濱出張所移送ニ係ル
鹽百五十萬斤ノ運賃トシテ事實之カ回送ヲ爲ササルニ拘ラス回送請負人野間某ニ
仕拂ヒタルモノナリ本件ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

大藏省所管帝國鐵道

收益勘定

第一款 鐵道事業費

第一項 鐵道作業費

(二十三) 鐵道院ノ支出ニ係ル(會計檢査院報告三)

三四九・一八〇

ハ同院技師渡邊某外四名ノ出張旅費トシテ證明シタルモノナルモ其實同院書記

富村某カ虛偽ノ旅費概算渡請求書又ハ同精算書ヲ作成シ其正當支給額ニ超
過セル前記金額ヲ横領シタルモノナリ依テ本件ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタ
ルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

第一款 學校及圖書館

第十項 雜給及雜費

(二十四) 鐵道院ノ支出ニ係ル(會計檢査院報告四)

三一〇・〇〇〇

ハ阪鶴鐵道株式會社ヨリ引繼キタル社員志津野某外二十三名ヲ鐵道院書記、
社清算事務ニ關スル費用ニ對シテハ一定ノ金額ヲ交付セルヲ以テ清算事務員ニ
對スル給與ハ政府ノ負擔ト爲スヘキモノニアラス依テ本件ハ不當ナリトス

陸軍省所管東京砲兵工廠

歲 出

第一款 東京砲兵工廠作業費

第五項 建造物其他補修費

(二十五) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル(會計檢査院報告一)

一、一八七・五一〇・七〇〇

ハ同廠岩鼻火薬製造所「ダイナマイト」製造工場並ニ同附屬建物新營工事費貳
拾貳萬五千貳百四拾圓六拾四錢及同工場器具機械ノ購入並ニ据附費貳拾
六萬五千四百參拾七圓貳拾四錢七厘ノ内ニシテ右ハ當初ノ設備ニ數倍セル工
場ヲ新設シ散在スル動力用水車ヲ廢シ舊電場ヲ新設シタル經費ニシテ純然タル
擴張事業ニ屬シ既設工場ノ維持補修ト看做スヘキモノニアラス依テ本件ハ陸軍
作業會計法第三號ニ違背シタルモノトス

(二十六) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル(會計檢査院報告二)

六、七五九・〇〇〇

ハ同廠銃包製造所鍛工場建築工事費ニシテ外ニ鐵骨材一式ヲ官給シ東京市
鈴木某ノ請負ニ付シタルモノナリ本件ハ設計ニ違反シ且粗造工事ナルニ拘ラス之
カ工費ヲ仕拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

(二十七) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル(會計檢査院報告四)

六、七五二・一六・五〇

ハ同廠板橋火藥製造所依的兒庫新築工事費壹萬千百八拾七圓六拾五錢ノ
内ニシテ東京市宮崎某ノ請負ニ付シタルモノナリ本件ハ設計ニ違反シ且粗造工
事ナルニ拘ラス之カ工費ヲ仕拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

陸軍省所管千住製絨所

第九項 千住製絨所作業費

第一款 千住製絨所ノ支出ニ係ル(會計檢査院報告一)

四三・三八〇・〇〇〇

ハ將校用「セル」地製造工場新設ニ關スル費額拾四萬貳千四百參拾八圓貳拾
五錢ノ内第五工場增築煉瓦造此建坪七百三十二坪ノ工事費ニシテ右ハ新ニ
製造工場ノ擴張ヲ行フ經費ニシテ既設工場ノ維持補修ト看做スヘキモノニアラス
依テ本件ハ陸軍作業會計法第二條ニ違背シタルモノトス

文部省所管學校及圖書館

第一款 學校及圖書館

第十項 雜給及雜費

(二十九) 第一高等學校ノ支出ニ係ル(會計檢査院報告一)

一、一二五四・六八〇

ハ明治四十一年七月ヨリ九月ニ至ル間ニ於テ東京市杉并某ヨリ供給シタル兵式
體操場地平均用人夫二千二百五十七人八分ノ賃金トシテ支出シタルモノナルモ
其實同人ヲシテ材料ヲ提供セシメ修繕工事ノ全體ヲ請負ハシタルモノナルヲ以テ
該工事ハ普通ノ例規ニ依リ競争入札ニ付シ之カ經費ハ修繕費ノ支辨ト爲スヘキ
モノナリ右ハ事實ヲ作爲シテ競爭入札ヲ避ケ且豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ
ニシテ不當ノ支出ナリトス

既往年度検査未確定ニ屬セシ金額ニシテ検査確定ノモノニ於テ

明治四十年度

歲入

第一款 官有物拂下代
第二項 地所拂下代

(三十) 廣島縣廳ノ徵收ニ係ル(會計検査院報告一)

六七・三四〇

八廣島縣安藝郡警固屋町字新開所在荒蕪地二段一畝十七步ヲ明治四十年四月同町田中某外一名ニ對シ拂下ヲ爲シタル代價ニシテ右拂下地ハ附近土地ノ賣買價格ニ徵シ其時價數千圓ニ達スヘキモノナルニ當局者ハ之カ實況ヲ調査セス著シキ低價ヲ以テ拂下ヲ爲シタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

明治四十一年度

歲入

歲入經常部

第三款 官業及官有財產收入

第二項 森林收入

(三十一) 高知大林區署ノ徵收ニ係ル(會計検査院報告二) 二四・八一〇

八高知縣松田某外四名ニ對シ土佐國高岡郡東津野村不入山外十一國有林松外五種三百九十五本ノ拂下ヲ爲シタル代價ナリ右ハ森林主事川谷某カ生立木ニ若干ノ枯損木ヲ加ヘ總テ枯木及顛倒木等ト稱シテ拂下ノ出願ヲ爲サシメ小林區署長ニ對シ枯木其他トシテ虛偽ノ調査報告ヲ爲シタル爲メ此價格千七百餘圓ニ相當スヘキ物件ヲ前記價格ヲ以テ拂下ヲ爲シタルヲ以テ不當ナリトス

歲出

內務省所管

第七款 北海道拓殖費

第一項 殖民事業費

(三十二) 本項ニ於テ北海道廳增毛支廳ノ支出ニ係ル(會計検査院報告二)

六五・八五〇

第六項道路橋梁修繕費ニ於テ同廳ノ支出ニ係ル

八六・五〇〇

八土地處分及整理費並ニ道路修繕費トシテ證明シタル貳百七圓五錢ノ内ニシテ五拾四圓七拾錢ハ明治四十二年一度ニ屬スルモノナリ右ハ前述同廳雇岩城某ノ犯罪事件ニ關スル同一モノニシテ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲシタル不當ノ支出ナリスト(仍ホ附言スヘキハ同廳所管ニ於テ既往數次同様ノ批難ヲ受ケタリシカ將來斯ル事項ノ續出セラシコトヲ希望ス)

大藏省所管專賣局

歲入

第一款 專賣局作業收入

第一項 作業收入

(三十三) 本項決算額ノ外撫養專賣支局ニ於テ收入ニ至ラサルモノ(會計検査院報告四)

八同支局管内德島縣那賀郡見能林村大字答島村製鹽業者ニ於テ明治四十年六月ヨリ四十二年七月ニ至ル間密賣シタル鹽百九萬九千八十斤ヲ一般定價ニ依リ計算シタル賣渡價格貳萬六千百參拾七圓六錢七匣ノ内ニシテ本件ハ見能林出張所長以下製鹽業者ノ請託ヲ容レ若ハ之ト共謀シ數年ニ瓦リ鹽ノ密賣ヲ爲サシメ國庫ニ損失ヲ來シタルモノニシテ不當ナリトス

海軍省所管海軍工廠資金

歲出

第一項 材料物品費

第一項 材料物品費

(三十四) 舞鶴海軍工廠ノ支出ニ係ル(會計検査院報告六)

一八六・四七六

八舞鶴海軍工廠會計部材料庫ニ於テ大阪市竹島某外一名ヨリ購入シタル錫及銅代價トシテ證明セル壹萬八千貳百八拾六圓貳拾貳錢ノ内ニ包含セルモノナリ

右ハ材料庫雇員早野某カ同庫雜工等數名ト共謀シ明治四十一年五月、六兩月中錫及銅ヲ購入スルニ當リ商人ヨリ納入スヘキ數量ヲ減少セシメ在庫品ヲ以テ之ヲ補充シ宛モ契約上ノ全數量ヲ納入シタルカ如ク裝セ商人ヲシテ代價全部ノ請求ヲ爲サシメ其差額ヲ騙取シタルモノナリ依テ本件ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

明治四十二年歲入歲出總決算及各特別會計歲入歲出決算中左記ノ各項ハ警告若ハ注意スヘキモノトス

內務省所管

歲出臨時部

第二款 土木事業費

第一項 河川改良費

(一) 内務省大阪土木出張所ノ支出ニ係ル(會計検査院報告二)

一〇・五九・二・三三〇

八大阪府北河内郡守口町以下安治川ニ至ル濱川下流改修工事費トシ明治四十年度ヨリ同四十七年一度ニ至ル繼續豫算參百萬圓ノ内明治四十二年一度ニ屬スル工費中ヨリ上流濱川既成工事ノ維持修繕費ニ支出シタルモノニシテ會計法第十二條所謂豫算ノ目的外ニ屬スル不法ノ支出ナラズヤト質シタルニ政府ハ豫算要求ト同時ニ告示ヲ以テ明治四十一年度ヨリ本大臣ニ於テ濱川下流改修工事ヲ施行ス其區域ハ左ノ如シトシテ濱川左岸大阪府北河内郡樟葉村右岸同府三島郡島本村以下海ニ至ルトセリ右ノ如ク下流改修工事區域ハ大阪府管内濱川流域全部ニ亘ルト明記シアルヲ以テ豫算ノ目的外支出ニ非スト辯明シ反覆質問應答ノ結果情實ニ於テ已ムヲ得サルトナスモ當初豫算要求ニ際シ其趣旨明瞭ヲ缺ケルヲ以テ既ニ三回ノ決算ニ於テ同一疑問ヲ繰返サレ引續キ明治四十七年マテ同様ノ事ヲ反覆セシムルニ至リシハ穩當ナラスト認ムヘキニヨリ將來豫算要求ニ際シ如斯コトナカラシコトヲ注意ス

陸軍省所管
歲出經常部

第二款 軍事費
第三項 修繕費

(一) 臺灣總督府陸軍經理部ノ支出ニ係ル(會計検査院報告一)

九二四二二。七八〇

ハ臺中元旅團長官舍ヲ臺南守備隊司令官宿舎ニ移轉模様替ニシタル工事費ニシテ該工事ハ元建物ヲ取毀チ臺中ヨリ臺南ニ移築シタルモノニシテ原形ノ儘移轉シ或ハ單ニ模様替ニ止マレヘキ普通修繕ノ工事ト看做スヘキモノニ非サルヲ以テ臨時營繕ノ費途ニ屬シ本費ノ支辨ト爲シタルハ其處置當否ヲ観クモノト認ム依テ警告ス

第七項 雜給及雜費

(二) 本項ニ於テ第六師團經理部ノ支出ニ係ル(會計検査院報告二)

一一〇〇〇〇〇〇〇〇

第十六項軍隊需品費ニ於テ同經理部ノ支出ニ係ル 一五二六五〇〇〇
ハ平壤駐劄歩兵第二十二聯隊ニ於テ電燈設備ヲ爲シタル工事費ニシテ該工事ハ臨時營繕費ノ費途ニ屬スルモノナリ然ルニ之ヲ本費ノ支辨ト爲シタルハ當事者ノ誤解ニ出テタルモノナリト云フニ在リ斯ル支出ハ畢竟政府監督ノ怠慢ニ起因シタル結果ナリト認ム依テ警告ス

海軍省所管
歲出經常部

第九項 衣糧費

(四) 橫須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル(會計検査院報告一)

六、六二一七。六〇〇

ハ東京市大塚某ニ對シ隨意契約ニ依リ既成靴十文形一千八百組ヲ交付シ十一文形ニ改造セシメタル代價トシテ仕拂ヒタルモノナリ右ハ會計検査院認定ノ如ク未タ一回モ使用セサル小形既成品ヲ取毀チ大形ニ改造シタル事實ハ認メ難ク要スルニ不用ノ既成品ヲ競賣シテ歲入ニ編入スルノ途ヲ避ケ新調代價ト相殺シタルモノト認メサルヲ得ス依テ其處置穩當ヲ観クモノト認ム依テ警告ス

歲出臨時部

第十一款 整理費
第二項 建築費

(五) 橫須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル(會計検査院報告二)

三九、二一四〇〇〇〇

ハ砲術學校學生講堂宿舍外ニ廉新營工事費四萬千四百圓ノ内ニシテ貳千百六十圓ハ明治四十一年度ニ屬シ横須賀市長濱某ノ請負ニ付シタルモノナリ本件ハ設計ニ違反シ且粗造不良ノ工事ニ對シ工費ヲ支拂ヒタルモノニシテ政府監督ノ怠慢ニ因シタル結果ナリト認ム依テ警告ス

遞信省所管
歲出臨時部

第十一款 日清電信協約施行費
第一項 海底電線新設及撤去費

(六) 遷信省ノ支出ニ係ル(會計検査院報告一) 一四七、八七九・九〇〇

ハ一心入中間線八十七海里及一心入淺海線三十二海里分ノ代價ニシテ明治四十二年八九兩月中合名會社大倉組外一名ヨリ購入シタルモノナリ抑本費ハ

日清電信協約ノ施行ニ伴ヒ大連芝罘間ニ海底電信線ノ新設及候鬼石南尖間ニ布設シアル海庭電信線ノ撤去ヲ要シ明治四十一年五月第二豫備金ヨリ拾九萬圓ヲ支出シタルモノニシテ同年六月之カ工事ニ著手シ所要材料ハ主トシテ在來ノ貯藏品中ヨリ綜合セ海底電信線ハ一心入深海線七十六海里餘一心入淺海線二海里餘此價格八萬九千餘圓ヲ使用シ總額拾貳萬貳千餘圓ヲ以テ同年七月竣工ヲ告ケタリ然ル前記購入品ハ實際使用ノ電信線ト其種類ヲ異ニ貯藏品ニ継戻ノ爲メ購入シタルモノト認メ難ク其理由ヲ政府ニ質問シタルニ其答辨ノ要旨

ハ本海底線ハ大部分中間線ヲ使用スヘキ場所ナルモ貯藏品中適當ノ中間線ナカリシニ由リ先ツ在來ノ深海線ヲ布設シ時機ヲ見計ヒ布設替ヲ爲スノ見込ヲ以テ購入シタルト謂フモ本線ハ竣工後仍未其布設替ヲ爲スアズ明治四十一年度ニ於テ第二豫備金ヨリ七千餘圓ヲ支出シ修繕工事ヲ施行セルニ由リ之ヲ觀レハ至急布設替ノ必要アリト認メ難キノミナラス縱ヒ後日布設替ヲ爲ス必要アリトスルモ其所要物品ハ工事實施ノ際ニ至リ購入スヘキモノナルニ豫備金支出ノ經費ヲ以テ不急ノ物品ヲ購入シ之ヲ貯藏スルハ不當トスヘキモノナルモ稍理由アリト認ムヘキ事情アルニヨリ警告ヲ與フヘキモノトス

大藏省所管專賣局

第一款 專賣局作業費
第七項 事業費

第一款 專賣局作業費
第七項 事業費

(七) 茂木專賣支局ノ支出ニ係ル(會計検査院報告五) 一六、〇五〇・〇〇〇

ハ同支局及宇都宮、烏山、馬頭、喜連川各出張所ニ於テ茂木倉庫株式會社外五名ニ告シ仕拂ヒタル葉煙草ノ保管料ニシテ所在地專賣局製造所ノ借庫料ニ比シ高率ナルハ事實已ムヲ得サルモノナキニ非サルモ政府ハ宜シク適當ノ方法ヲ選ヒ國庫ノ損失ル來スヘカラス依テ茲ニ警告ス

陸軍省所管東京砲兵工廠

第一款 東京砲兵工廠作業費
第五項 建造物其他補修費

(八) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル件(會計検査院報告二)

三六、四五〇・〇〇〇

ハ同廠構内第一四〇號家屋移築並ニ之ニ伴フ各種工事費トシテ證明セル四五千百參拾圓貳拾六錢ノ内ナリ右ハ同廠構内後樂園内ノ建築物ニシテ其構造タル頗ル華美ヲ盡シ通常官衙ノ會議用ニ供スヘキ建物ト認メ難シ要スルニ本件

ハ名ヲ移築又ハ會議用ニ藉り作業上必要ナキ新營工事ヲ爲シタルモノニシテ政府ノ處置穩當ヲ覗クモノアルヲ以テ將來相當ノ注意ヲ望ム

大藏省所管

第一款 補助費

歳出臨時部

(九) 第五項 東洋拓殖株式會社補助

二〇〇、〇〇〇、〇〇〇

ハ同會社法第三十一條ニ準シ積立金ラナシ其殘額ヨリ同會社法第三十九條ニ依リ拂込資本金ニ對シ年八朱ニ相當スル全額以外ノ利益金ヲ控除シテ補給スヘキモノナルニ全額金參拾萬圓ヲ支拂ヒタルハ處置ノ宜シキヲ得タルモノニアラス政府ハ宜シク同會社法ヲ勵行シ以テ拓殖ノ目的ヲ貫徹セシメンコトヲ望ム茲ニ警告ス

(上塙安太郎君登壇)

○上塙安太郎君 諸君、決算委員會ノ經過及結果ヲ簡單ニ御報告ヲ申上ゲマス、決算委員會ハ總會ヲ開キマシタコトガ前後五回デゴザイマス、分科會ハ五分科ニ分ケマシテ、各分科會ニ於テ會ヲ開キマシタコトハ合シテ十八回ニ及シテ居リマス、其間ニ近衛歩兵第一聯隊ニ參リマシテ、彼ノ陸軍經理委任ノ實況ヲモ視察ヲ致シマシタ、其他東京陸軍備成監獄ヘモ參リマシテ、是モ視察ヲ致シタノアリマス、而シテ委員會ハ會計検査院ノ報告ト、政府ノ辯明ヲ參照致シマシテ、精密ニ慎重ニ調査ヲ遂ゲマシタ次第アリマス、其結果ハ會計検査院ガ豫算及法律勅令ニ違背シ、不當ノ事項トシテ報告ヲ爲シマシタ件數ハ、百六十件アリマシテ、此金高ハ三百六十七万三千百二十四圓二十八錢九厘トナツテ居リマス、之ニ對シマシテ委員會ガ審査ノ上テ不當若クハ不法ト議決致シマシタモノハ、百五十一件アリマス、此金高ハ二三百八万一千九百四十五圓八十五錢アリマス、警告若クハ注意ヲ與ベキモノト決議シタモノハ九件アリマス、此金高ハ二十八万三千四百四十九圓六十錢トナツテ居リマス、外ニ検査院ノ報告外ニ東洋拓殖會社ノ補助金ノ分ニ關スルノガ一件アリマス、ソレカラ政府ノ辯明ヲ是認致シマシタモノガ九件アリマス、此金ガ三十万六千七百二十八圓八十二錢九厘アリマス、ソコテ此詳細ノコトハ既ニ報告書ヲ諸君ノ御手許ニ配付ラ致シテ置イタ次第アリマスカラ能ク御覽ヲ願フ次第アリマス、最早會期切迫ノ場合デゴザイマスカラ委員會ニ於テ問題トナツタ重ナルモノタケラ申上ゲテ置カウト思フノアリマス、而シテ此報告書ヘ議長ノ許可ヲ得マシテ速記ノ中ニ記載スルコトニ致シタトイ思テ居ルノアリマス、先アリマスカラ能ク御覽ヲ願フ次第アリマス、神田橋外百十九稅務署ニ於テノ徵收過ニ屬スル分ニアリマス、此金額ハ一万八千五百九十六圓二十一錢アルノ稅務署ノ徵收、是ハ淺野セメント合資會社外二百四十六會社ノ資本金額ヲ算定スル當リマシテ現實ノ出資金額ニ依ラズ、契約金額ヲ以テ計算シタノアリマシテ、會計検査院ハ之ヲ不當ト報告シタノアリマス、政府モ同意シテ居ルノアリマス、ソコテ委員會ニ於テ問題ニナリマシタハ此不當ノ徵收ニアリテ、兩件トモ既ニ政府が同意ラシテ居ルコトアルカラ、納稅者ニ對シテソレ等ノモノヲ還付スルト云フ決議ヲシタノアリマス、是モヤハリ政府が同意ラシテ居ルノアリマス、是モヤハリ政府が同意シテ居ルノアリマス、東京共產合資會社外一會社ニ對シテヤハリ前同様ノ理由ニ依リマシテ會計検査院ハ不當ト報告ラシテ居ルノアリマス、是モヤハリ政府が同意ラシテ居ルノアリマス、ソコテ委員會ニ於テ問題ニナリマシタハ此不當ノ徵收ニアリテ、兩件トモ既ニ政府が同意ラシテ居ルコトアルカラ、納稅者ニ對シテソレ等ノモノヲ還付スルト云フ決議ヲシタノアリマス、是ハ警報ヲ與ヘルト云フコトニ極メマシタノアリマス、斯様ナコトハ明カリ豫算ヲ求メテ政府ハ之ニ對シマシテ検査院ノ報告ニ同意シ、今日ハ解釋ヲ變更シタケレドモ、既ニ

徵收シタ金ハ還付出來ナイ、即チ其當時ニハ其解釋ヲ大藏省ガ正當ト認メタノアル故ニ、溯ヅテ之ヲ還スコトハ出來ナイ、固ヨリ誤謬カ何カテ徵收シタモノナラバ還スケレドモ解説ノ點ヨリシタモノハ還サナイト云フ政府委員會ノ答辯デゴザイマシタ、ケレドモ委員會ニ於キマシテハ討論ノ結果、遂ニ是ハ納稅者ニ還付スベキモノト決定ヲ致シシタ次第アリマス、次ハ相續稅ニ關スル件ニアリマシテ、是ハ名古屋稅務署ノ徵收ニ係ル分ニアリマス、金ハ七万六千九百七十圓七十一錢アリマシテ、名古屋市德川家ノ相續稅ヲ定メルニ當リマシテ、財產ノ價格ニ對シマシテ會計検査院ハ不當ト云フ報告ヲ致シタノアリマス、委員會ニ於キマシテハ此問題ニ付キマシテハ餘程議論モアリシタノアリスガ、此德川家ノ分ニ對シテハ價格低減ト認メラル點モアルケレドモ、全體相續稅ノ如キモノハ餘リ苛察ニ流ル、コトハ宜シクナイ、又大藏省ヨリハ明治二十八年一月訓示ヲ致シテ居リマス、其訓示ハ讀ンテ見マスガ、斯ウ云フコトアリマス、訓示ノ

尤デアルケレドモ將來ハ慎マケレバナラスト云フ警告ヲ與ヘタ次第アリマス、併シ此問題ニ付キマシテハ委員中ニアツテハ不當ト決議ラシナケレバナラスト云フ 御意見モアリマシタケレドモ、少數デ可決ヲ致シマシタ、チヨット此處デ申上ゲテ置キマスガ、此第一分科即チ陸海軍ノ部ニ屬スル分テ、此報告書ノ中ニ警告ヲ與ヘテ居ル分カ一二三件アリマスガ、此分ニ對シテモ 委員中ニハ 警告デハイケナイ、不當ト決議シナケレバナラスト云フ 御意見モアリマシタ、ケレドモ遂ニ多數ヲ以テ警告トナリマシタ次第アリマス、今一ツハ會計検査院ノ報告ハアリマセヌノアリマスガ、大藏省ノ歲出臨時部アリマシテ、東洋拓殖會社ノ補助ノ件アリマス、是ハ委員會デハ餘程ヤカマシイ問題ニナリマシタノアリマスガ、要スルニ會社法ノ第三十九條及其他ノ法文ニ依テ見マスレバ利益配當が拂込金高ニ對シマシテ年八分ノ割合ヲ超過スルトキハ、其超過額ニ相當スル金額ヲ補助金ノ内ヨリ控除セヨト云フコトニナシテ居ル、ニアリマス、ソレデアルニモ拘ラズ同會社ノ明治四十二年度ニ於ケル決算ヲ見マスルノニ準備金、賞與及交際費等ヲ引去リマシテ八分以上ノ配當ハ優ニ出來得ルニモ拘ラズ殊ニ會社ガ六分ノ配當ヲ爲シマシテ十九万圓餘ノ繰越金ヲシタノアリマス、是ニ對シテ政府ハ補助金額三十萬圓ヲ仕拂ヒマシタノハ甚ダ不都合デアルト云フコトアリマシタ、政府ハ是ニ對シマシテ此會社ノ如キモノハ成ベク基礎ヲ鞏固シシナケレバナラスカラ、繰越金ヲ多クシナケレバナラスト云フ辯明モアリマシタ、委員會ニ於キマシテハ段々討論ノ末、是ハ不當デアル、不法デアルト云フ議論モゴザイマシタケレドモ、遂ニ政府ノ處置ハ甚ダ宜シクナ、將來ハ此會社ニ對スル會社法ヲ十分ニ厲行シテ、拓殖ノ目的ヲ達セシムルヤウニセヨト云フ警告ヲ與ヘマシタ次第アルノデアリマス、大體問題ニナリマシタノハ右申シ上ゲタ問題デアリマスカラ是テ止メマスガ、尙終ニ臨ミマシテ一言シテ置キマスルコトハ政府ハ今日マテ此決算ニ對シマシテ會計検査院ガ如何ニ不當ノ報告ヲシヤウガ、決算委員會ガ如何ニ不法若クハ警告ヲ與ヘセウガ、之ヲ其儘ニ打棄テ置クノミナラズ、下僚ノシタコトナラバ或ハ報告ヲ認メ、處分ヲスルノアリマス、若シ事上官ガ爲シタ問題デアルナラバ、徒ニ口實ヲ設ケテ是ニ抵抗スルト云フ今日マテノ政府ノ狀態デアル、此ノ如キコトデアッテハ上ノ爲ストコロ下是ニ做フト云フ譬ノ如ク、年々歲々不當、不法ト云フモノガ構エテ來ルヤウナ次第デアリマス、政府モ將來ハ十分此事ニ向テハ注意セヨト云フ警告ガアリマシタ、殊ニ陸軍省ニ對シテハ問題モ多イノアリマス、金高モ亦非常ニ多イノアリマス、ソレデアルカラ陸軍省ハ殊ニ此決算ニ付テハ將來注意セヨト云フ大略ノ警告ガアリマシタ次第デアリマス、以上ハ決算委員會ニ於キマシタコロノ經過ト結果ノ大體ヲ申上ゲタ次第デアリマス、ドウゾ詳細ハ差上ゲタ次第デアリマス、ドウゾ詳細ハ差上ゲタ次第デアリマス、何卒委員會ノ決定ニ御同意アラントコトヲ希望致シマス

(「委員長報告通り異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○加瀬禪逸君 此際私ハ政府ニ質問ヲ致シテ置キタ、唯今決算委員長ノ御報告ニナリマシタ事項中、大藏省ノ歲入經常部第一款租稅、第三項營業稅ノ點アリマス、委員長ヨリ詳シ御報告ガアッタ事項デアリマスカラ其事柄ノ詳細ハ述べマセメ、唯此營業稅ノ不當徵收ニ係ル分ハ委員會ニ於テ是が返還ヲ爲スベシト云フ議決ラシトノアリマスガ、政府ハ其決議ノ趣旨ニ同意ラシテ返還ヲナサル、カ否ヤ、此事ダケ明言ヲ得テ置キタインデアリマス

○議長(大岡育造君) 橋本大藏次官

〔政府委員橋本圭三郎君登壇〕

○政府委員(橋本圭三郎君) 左様デアリマス、併ナガラ今委員長カラモ御報告ニナツキ通リニ重大問題デアルト云フコトアリマスカラ、將來如何ニスベキカト云フコトニ付キマシテハ、大ニ考慮フ致ス積リデアリマス

○加瀬禪逸君 私ハ唯今ノ政府ノ答辯ニ對シマシテ愚見ヲ述ベタイノアリマスラスノアリマス

○加瀬禪逸君 變ラヌノデスカ

○政府委員(橋本圭三郎君) 左様デアリマス、併ナガラ今委員長カラモ御報告ニナツ

○議長(大岡育造君) 御演説ナラバ通告ノ順ガアリマス

○加瀬禪逸君 然ラバ適當ノ時機ニ於テ……

○議長(大岡育造君) 高木正年君——高木正年君チヨット御待チナサイ、アナタハ反対デスカ、贊成デスカ

○高木正年君 委員長ノ報告ニ贊成デスガモウ少シ意思ヲ明カニシタイト思ヒマス

○議長(大岡育造君) 贊成ナラバ——加瀬君ハ反対デスカ

○議長(大岡育造君) 高木正年君チヨット御待チナサイ、アナタハ反対デスカ、贊成デスカ

○議長(大岡育造君) 然ラバ同シ贊成デアリマスカラ、高木正年君ニ許シマス

○議長(大岡育造君) 唐突ニ登壇致シタノデハアリマセス、私ハ決算ナルモノガ如何ニ議會ノ議事中

○議長(大岡育造君) 賛成ナラバ——加瀬君ハ反対デスカ

○議長(大岡育造君) 私ハ政府ノ意見ニ對シテ辯駁ヲ試ミタイ、今ノ政府ノ答辯ニ對シテ……

○議長(大岡育造君) 然ラバ委員長ノ報告ニハ御同意デスカ

(高木正年君登壇)

○高木正年君 唔今委員長ノ上塗君カラ詳細ニ御報告ニナリマシタデ、強テ私ハ蛇足ヲ加ヘルタメニ登壇致シタノデハアリマセス、私ハ決算ナルモノガ如何ニ議會ノ議事中

○高木正年君 唔今委員長ノ報告ニ贊成ナラバ——加瀬君ハ反対デスカ

○議長(大岡育造君) 賛成ナラバ——加瀬君ハ反対デスカ

○議長(大岡育造君) 唔今委員長ノ報告ニナリマシタ總アノ不當事件、警告セラレタル事件、此違反事件ナルモノガ、年々歲々殆ド繼續的ニ起ツテ來ル原因デアリマス、此一ノ上ニ付テ簡単ニ私ノ所見ヲ申シテ置キタイト

○議長(大岡育造君) 何ナルコトヨリ原因スルカト云フコトヲ探究スル必要アルト思フ、第一ニハ政府が責任ノ所在ヲ明カニシナイト云フコトガ其原因デアリマス、第二ハ政府自ラガ豫算ト云フモノ、

○議長(大岡育造君) 實施ニ重キヲ置イテ居ラヌ、言ヲ換ヘテ言ヘバ法律ニ違反シ、命令ニ違反スルト云フコトガ、政府自ラガ求メテ爲シテ居ルト云フコトガ、違反事件ノ年々歲々繼續的ニ起ツテ來ル原因デアリマス、此一ノ上ニ付テ簡単ニ私ノ所見ヲ申シテ置キタイト

○議長(大岡育造君) 何故ニ責任ノ所在ヲ明カニシナイト云フコトガ其原因デアリマス、委員長ハ謂ヘラク、違反事件ノ中テ最も陸軍省ハ其大部分ヲ占メテ居ル、成程其通りデアル、違反事件ノ金額ハ三百八十七万圓程ニナリマス、其件數ハ、百六十九件ニナツテ居ル、而シテ陸軍省ノ違反事件ハ、十七件、件數ノ上カラ申シマスルト僅ニ十ノ一一ニ足リナイトコロノ數デアルガ、金額ハ經常

費ニ於テ一百六十七万圓、特別會計ニ於テ三十二万圓餘、其他ニ於テ四万圓餘、總計二百四万圓餘デ、之ヲ違反事件ノ全體カラ數ヘマスルト丁度十上ハニ對スル二十餘ト云フ比例ニナシテ來ル、陸軍省が違反事件ノ總チヨク脊負シテ居ルト云フコトハ是デ分ル、何故ニ陸軍省が斯様ニ違反事件ヲ多ク出スカト云フコトデス、責任ノ所在ヲ第一明カニシナイ、此検査院ノ報告ハ諸君ハ御一讀ニナリマシタラウカラ一々之ヲ讀ンテ御話ヲ致スト云フ煩ヲ省イテ、大體ニ付テ申シマスルガ、臨時建築本部ノ支出ニ係ルモノニシテ第一師團經理部ニ於テ云々ト云フコトガアル、是が最モ違反事件が多い、所が何人ガ此違反ノ責任ヲ負ウテ居ルカト云フト、第一師團經理部以下ノ人ガ責任ヲ負ウテ居ル、其主任タルトコロノ臨時建築部本部長ハ何等之ニ付ア譴責セ受ケテ居ラヌト云フコトが實際ニアリマス、己レノ主管ト爲ストコロヲ縱令之ヲ人ニ代辦サセニシテモ其責任ハヤハリ建築本部長ガ之ヲ受ケナケレバナラス、建築本部長ハ多ク次官ガ之ヲ兼官シテ居ラレルノデアル、其他テス、陸軍省ニ於ケル總テノ事件ハカリテハアリマセヌ、其他ノ所管ニ付キマシテモ、皆此様ニナシテ居ル、責任ヲ負フベキモノハ責任ヲ負ハズシテ、多ク末僚ノモノガイツモ責任ヲ被テ居ル、ソレモ少シ面倒デアルト、陸軍アタリデハ退職ニシテシマッテ、其人ヲ所罰シナイト云フ結果ニナル、例ヘバ隨分アル彼ノ板橋兵器庫及赤羽清涼火藥庫ノ處分ノ如キ、既ニ四十一年ニモ問題トナシテ經理部長ハ退職シタカラト云シテ何等責ヲ負ンテ居ラス、其他ノモノガ刑事ノ被告人トナシテ其處分ヲ受ケタノニアリマス、殊ニ此本アルトコロノ上ノ監督ノ任ニアルモノハ少シモ責任ヲ被テ居ラス、政府ハ一方ニ於テハ責任ノ所在ヲ明カニシナイト同時ニ他方ニ於テハ自ラ法律勅令ヲ犯スト云フコトヲ顧ミナシ、法律勅令ニ重キヲ置イテ居ラス、豫算其モノヲ實行スルニ付テ重キヲ置イテ居ラス、而モ此重キヲ置イテ居ラスト云フコトヨリ起ルトコロノ違反事件ガ、イツモ陸軍省ノ頭部所謂大臣次官三於テ爲サナケレバ出來ナイト云フコトが最モ多イノデアル、例ヘバ是ハ警告ナシテ居リマスガ、砲兵工廠ノ會議所問題ノ如キ、是ハ委員會ハ警告ノ部ニ屬シテ居ル、他ノ會議所——製作所ニ於ケルトコロノ會議所ナド、云フモノハ極ク粗末ナモノデ、謂ハヤ板張デ唯椅子が五六脚列シテ居ル位ノモノデアリマスカラ、會計検査院ハ小石川砲兵工廠ノ會議所ニ於テ其建築ハ檜ノ柱ヲ以テシ、床ノ間ハ二重張ノ寄木ヲ以テシ、天井ハ格天井、格子ハ漆ヲ塗シテアル、鄭重ナシノデアッテ、是ハ作業ニ用井ル會議所トシテハ適當ナシト云フコトヲ言シテアル、誠ニ其通りデアル、若シ陸軍省ノ方ニ豫算ヲ重シテ初メカラ會議所ナルモノ、性質ニ依シテ要求サレタナラバ無論ノコト、若シ是ガ事實ニ於テ後樂園ハ外賓接待所アルタメニ斯様ナ建物が必要アリトセバ、四十三年ニ於テ政府が要求シタ彼ノ姫路城保存費ノ名目ノ如ク、小石川後樂園保存費トシテ要求サレタナラバ吾ミハ何トセ言ハヌ、初メヨリ豫算ノ目的ニ違フモノヲ兵器廠ノ豫算ノ下ニ之ヲ造ルト云フコトガ、抑、違反事件ヲ作ラシムル原因ニナシテ居ル、朝鮮ニ於ケルトコロノ統監府ノ建物ト、陸軍省ニ屬スルトコロノ駐屯兵司令官宿舍ト交換シタガ如キモノモ、四十一年ニ此事ハ既ニ交換ト云フコトが決シテ居ル、所が四十一年四十二年ト繼續的ニ交換ヲ決シテアルニモ拘ラズ、駐屯軍ノ宿舎ヲ造ルニヤハリ統監府ノ官舎ヲ造ルト云フ名目ノ下ニ於テ豫算ヲ提出シテ居ル、是が即チ違反事件ノ本ラ爲シテ居ル、斯様ナコトハ決シテ朝鮮ニ駐屯スルトコロノ會計官吏デ出來得ルコトデナイ、苟モ大臣次官ニ於テ承知ラセヌ以上ハスル交換ハ出來ナイ、統監其人ガ之ヲ承諾セザレバ此様ナコトハ出來ナイ、是ハ唯豫算ヲ受取ルニ於テノ名ノミテ、實際支出スルニ方ラテハ豫算ハ眼中ニナイ、斯様ナコトガ重ニ違反事件ノ本ラ爲

スノデアル、政府ハ勅令及法律ヲ尊重スルト云フ考ガ頭カラナイカラ違反事件が續々起ルト云フコトハ陸軍省ニ多イノハ誠ニ無理カラヌ、其他一局部ノ責任ニ屬スル如クニシテ事實ハサウテナイモノが澤山アル、例ヘバ鹽專賣ニ於ケル量減歩合ノ如キモノハ、決シテ專賣局長ノ自分ノ扱ヒニ出來ルモノデハナイ、所が不當ノ扱ヒシテ多ク減リモシナイモノヲ減シテ四十二年ニ既ニ七万圓程ノ損失ヲ受ケテ居ルト云フヤウナコトハ大藏大臣が承知ヲシナケレバ出來ナイコトデアル、斯様ナ例ハ澤山アル拓殖會社ノ配當金ヲ少ナクシテ繰越金ニ多ク繰入レテ補助ヲ多ク取シタト云フが如キハ拓殖會社が總會ヲ開クニハ豫メ政府ノ内諾ヲ得テ總會ヲ開クノデ、此時ニ繰越金ヲ餘計ニスルト云フコトハヤラズトモ宜イ、補助ヲヤルト云フコトヲ政府ハ内諾ヲセラル、ノテ違反事件ハ政府多ク自ラ初メヨリ製造スルト云フ考ヘデアルカラ斯様ナコトが起ル、實ハ決算ヲ審議スル前ニ政府が變シテ居シテ當時ノ大臣が居ラナイデ、如何ニモ死者ニ頓ツ感ガアル、洵ニ之ヲ討究シ、反省ヲ求ムル上ニ力ナイヤウデアリマスガ、能ク考ヘテ見ルト今ノ政治状態ハ多ク次官以下ノ人ノ手ニ政治ガ行ハレテ居ル、大臣が變シテモ次官以下ハ依然トシテ政府ノ實體ヲ成シテ居ル、是等ノ人ガ大臣が構ハナイ、即チ干與セザルコトニ違反事件が起シテモ、政府が變レバ一向責任ノナイヤウナ頗ツキシテ居ル、道理ニ外レテモ、常識ニ外レテモ、唯其問題ニ付テ一時ヲ糊塗スレバ決算が終ルト云フコトニナリマスカラ、年々歲々十三年ニハ違反事件ガナクナルト云フコトニナル、私ハ其元ヲ正シテ決算ニ於テハ十分委員長ノ報告ヲ強メテ、將來ニ於テ私共ハ縱令如何ナルコトモ豫算ヲ施行スルトキニ於テ政府が親切ニ法律ニ違ハヌヤウニ、勅令ノ趣意ニ悖ラヌヤウニ、條例ヲ誤タザルヤウニ改メラレンコトヲ深ク私ハ希望スルノデアリマス、終リニ臨ンテ一言シテ置キマスが縱令前ノ政府ノ仕事ト雖モ決算ニ對シテ責任ヲ持ツ、前ノ政府が怠ラタ時分ニハ當然今ノ當該大臣が責任アルト云フコトモ一言附加ヘテ置クノデアリマス、是が決算委員長ノ報告ニ對シ、贊成ノ意ヲ表シ併セテ警告ノ意ヲ一層強カラシムル次第ニアリマス

○議長（大間青造君） 加瀬禱逸君

（加瀬禱逸君登壇）

○加瀬禱逸君 諸君、會期切迫ノ今日ニ私が委員長ノ報告ニ賛成ノスルニ拘ラズ、意見ヲ陳スルノハ甚ダ無要ノヤウニ見エルノデス、實ハ私ハ委員長ノ報告ニ付テ政府が此

決議ノ趣意ニ贊同フセラル、ナラバ殊更ニ辯ラ好ムノ恩ハ演ゼヌ積リテゴザリマシタガ、唯

今試ニ政府ニ其所信ヲ質シマスレバ營業稅ノ過當徵收ニ付テハ委員會ガ之ガ返還ヲ

爲スベシト議決シタルニ拘ラズ、敢テ返還ヲスルニ及バスト云フコトノ反對ノ意見ヲ表明

サレタノデ、言葉簡ナリト雖モ即チ委員長報告ニ反對ヲスルノデアリマスルカラ、私ハ委員

長ノ報告ヲ維持シナケレバナラヌ必要ガアルタメニ茲ニ立チマシタ次第アリマス、問

題ニナシテ居リマスル營業稅ノ徵收過ニ屬シマスルモノハ其金額ニ於キマシテハ僅ニ一万

九千餘圓ニ過ギヌノデアリマス、數字ノ上カラ申シマスレバ洵ニ微々タル問題テハゴザイマ

スルヤウデアリマスルガ、實ハ法律ノ規定ヲ無視シ、兼テ又國民ノ權利利益ヲ疎闊スル

トコロノ政府ノ處置テアリマスルが故ニ、私ハ特ニ法律上ノ見地ヨリシテ自己ノ意見ヲ述べマシテ、政府ノ蒙ラ啓イテヤラウト云フノ考テアルノデアリマス、事案ノ内容ニ至リマシテハ委員長が詳シク御報告ニナリマシタ次第デ、即チ神田橋外百十九稅務署ニ於テ徵收過ヲ爲シタルモノ、幸橋外一稅務署ノ徵收シタルモノニ於キマシテ、ヤハリ不法ノ徵收ヲ

爲シタルモノ、其不法ノ徵收ニ至リマシタ事實ハ合資會社ノ資本金額ヲ算定スルニ當リマシテ、現實ノ出資金額ニ依ラズシテ、契約上ノ出資金額ニ依ツテ課稅標準タル資本金額ヲ算定シマシタメニ、茲ニ一万九千餘圓ノ不法徵收ニナシタノアリマス、資本ニ對シテ營業稅ヲ課スル場合ニ於キマシテ、其所謂資本ト云フモノガ現實營業上ノ資本トシテ運轉セラレツ、アル金額ニ當ルト云フコトハ言フヲ俟タナイト思フ、合資會社ニ於キマスル契約ノ出資額ハ即チ出資スペキ契約ヲシタルトコロノ金額テ義務ノ範圍ニ止マルノデアリマス、未ダ此契約ニ依ツテ出資スペキコトヲ約シタルトコロノモノガ、現實ノ資本トシテ營業用ニ運轉セラレツ、アルモノデナイト云フコトハ言フヲ俟タナイト思フ、合資會社ニ唯義務ノ限度ヲ示シタケテ現在ノ營業上ノ資金トシテ活動セラレテ居ルモノデナイト云フコトハ言フヲ俟タヌ、勿論契約上ノ出資金額ヲ全部出資シ盡シマシタナラバ、契約上ノ金額ト現實ニ運轉セラルベキ資本ト云フモノハ同一デゴザイマセウケレドモガ、契約上ノ出資金額ノ或ル幾部ヲ現實ニ出資シマシタ場合ニ於テハ、運轉サレツ、アル實在ノ資本ト紙ニ書イタ資本トノ異ナルト云フコトハ言フヲ俟タヌノデアリマス、然ルニ營業稅ヲ資本ニ對シテ課稅スル場合ニ於キマシテ、唯紙ニ書イテ實際運轉セラレザルトコロノ法徵收テアルトモノデアルカ、事實上運轉シ、アル資本ニ課稅スルモノデアルカト云フコトハ言フヲ俟タヌ、資本稅テアルガ故ニ、勿論事實上營業上ニ於テ活動サレツ、アルコロノ資金ニ對シテ課稅ヲスベキコトハ當然ノ話アリマス、此意義ヲ以チマシテ不爲スベキコトヲ追ツタノデアリマス、然ルニ政府ノ辯明ハ先刻委員長ノ御報告ニ相成リマシタ如ク、今ニ於テ其當時課稅ヲ爲シタルコトノ法律ニ違背シテ居ルト云フコトハ覺ツタケレドモ、課稅當時ニ於テ法律ノ正當ナル解釋ト信ジタルモノアルが故ニ、今之ガ返還ヲ爲サズ、トスウ言ハル、ノデアリマス、此處が諸君ト共ニ攻究セネバナラヌ問題デアルト思フノデアリマス、凡ソ租稅ハ云フマテモアリマセス、法律ノ規定ニ依ツテノミ是ガ徵收が出來ルノデアリマス、政府當局ノ考ヘ一ソニ依ツテ右ニ往ツタリ、左ニ往ツタリスルモノデナインデアル、憲法又明カニ法律ノ規定ニ據ルノ外租稅ノ徵收ヲ爲サズト規定致シテ居リマス、法律ノ規定が政府ノ頭一ツニ依ツテ動クモノデナイト云フコトニ考來ツタナラバ、斯様ナコトが書イテアリマス、「合資會社ニ於テ課稅標準トナスベキ資本金額ハ前年中ノ各月末ニ於ケル出資金額云々斯様ニ明示イタシテ居リマス、契約上ノ出資金額ト申シマスレバ、合資會社ヲ設立スルノ當初ヨリ定ツテ居ルノデアリマス、年ニ依リ月ニ依リ移動スベキ筈ノナインデアリマス、然ルニ施行規則ハ各月末ニ於ケル出資金額ニ依ツテ算定スベシト云フノデ、契約上ノ出資額ニ依ルト云フ断定アリマセス、各月末ナル文字ニ御注意ヲ拂ヒマスレバ、則チ契約上ノ出資金額ニアラズシテ、事實上ニ運轉サレツ、アル資本ニ據ルベキモノデアルト云フコトハ一目瞭然デアル、是ヲ株式會社ノ營業稅ニ關スル資本算定ノ方法が現實ニ拂込ンダル株金ニ據ルト云フ規定期定ノ精神ト相對シマシタナラベ、自ラ瞭然タルモノアル、此ノ如ク事理明白ニアラズニ拘ラズ、敢テ此過當ノ徵收ヲナスノハ畢竟スルニ稅吏常ニ徵稅ノ多キヲ競フ結果デアリマシテ、苛斂誅求ノ聲モ茲ニ胚胎ベルト云フコトニ想到リマシタナラバ、慎ミ且戒ムベキコト、思フノデアリマス、政府ハ動モスレバ辯シテ云フノテアリマス、今ハ成程不法デアルト云フコトヲ覺リマシタケレドモ、

其當時ニ於テハ不法デナイト信シタト云フケレドモ、此辯解ハ法律規定ニ變動ナル場合ニ於テハ、一應思考すべき御意見デアルヤウニ聽エマスガ、法律規定ニ變動ノ奈イ限ハ、此辯明ハ決シテ當ルマイト思フ、今日ニ於キマシテモ、明治四十一年ノ當時ニ於キマシテモ、合資會社資本金額ヲ算定スベキ法律上ノ規定ハ依然トシテ動キハナイノデアリマス、今日ニ於テ不法デアルト考ヘラル、ナラバ、昔時ニ於テモ尙且不法デアツタノデアリマス、規定ハ變更ガナケレバ、今日ノ不法ハ昨日ノ不法ハ今日ノ不法アル、今日不法ナリト解セラル、其法律ニ動キガナカツタナラバ、過去ニ於テモヤハリ不法アル、法律ノ變更ガアルト云フコトヲ立證サル、ナラバ、格別、然ラザレバ、今日ニ於テ不當ナリトシタコトハ、過去ニ於テヤハリ不當ナリトシナケレバナラヌ、法律ノ規定ノ變更ノナニ以上ハ此辯解ハ到底信ズルコトガ出來ナイ、是ニ於テ今日橋本政府委員ハ事細カニ明言ハ致シマセスケレドモ當政府が返還ヲ拒ム理由ノ一ツシテ、委員會ニ於ケルト同様ノ意見デアルト述ベラレタ、委員會ニ於テドレダケノ辯明デアツカト云フト、他ニ驚クベキ強辯ガアルノデアリマス、是ハ菅原主税局長ノ言デアルガ、橋本政府委員モヤハリ此言ヲ引用サレタモノト今日ノ答辯ニ依テ信セラレマスガ、茲ニ菅原主税局長ノ辯解ノ一節ヲ述ベテ私ハ政府ノ暴慢ヲ戒メヤウト思フノデアリマス、斯様ニ申スノデアリマス「成程四十一年度ノ決算ニ於テ營業稅ノ徵收過ニ屬スルモノハアルガ一面ヲ見レハ又所得稅中ニ於テ徵收不足ノ者ガアル徵收不足ノ者ニ對シテ追徵セナイト同シク徵收過ニ屬スルモノモ之が返還ラセナインデアル」斯様ニ辯セラルノデアル、其言葉ヲ半面ヨリ味ヒマスレバ、徵收過ニ屬スルモノニ對シテ返還ラスナラバ、徵收不足ノ場合ニ付テモ是ガ追徵ガ出來ヌ道理ハアルマイ、一方ニ不足ノ追徵ヲセヌナラバ、過徵ノ返還ヘセナイト斯様ニ辯ズルト同様テス、成程一應考ヘマスルト此辯解ハ巧ミノヤウデアル、併シナガテモ殊更ニ解釋スルナラ、卒サ知ラズ、初メヨリ性質上誤り得ベカラザルモノアルト云フコトヲ他ノ規定ニ依ツテ證明シタイト思フ、營業稅法ノ施行規則ハ其第十八條ノニ於テ居リマス、法律ノ規定が政府ノ頭一ツニ依ツテ動クモノデナイト思フ、營業稅法ノ規定ニ對シテ如何ナル手續規定ヲ設ケテアルカハ、今詳シテ申述マセヌテモテモ居リマス、法律規定ヲ無視シテ居ルノデアリマス、愚者ハ時ニ惑ハスコトが出來マセウケレドモ、識者ハ決シテ欺クコトハ出來ナインデアル、此點ニ關シテ何故ニ斯様ナ議論ヲスルカト云フ、稅法が租稅ノ徵收ニ對シテ如何ナル手續規定ヲ設ケテアルカハ、今詳シテ申述マセヌテモ御分リゴザイマセウガ、試ミニ其一端ヲ申シマスルト、彼ノ所得稅ニアルカト云フ、營業稅ニアルマシテモ、先づ納稅義務者ヨリシテ所得稅ニ付テハ所得金額ノ申告ヲサセ、營業稅ニ在リマシテハ課稅標準ノ届出ヲサセテ、其申告若クハ届出ニ付テ政府が所謂所得金額若ハ課稅標準ノ決定ヲ致スノデアル、此決定ニ對シテ異議ガアルナラバ異議ヲ申立て、其審査ヲ求メルコトモ出來ルシ、其異議ニ基ク審査ノ決定ニ對シテ尙又不服ナラバ訴願又ハ行政訴訟ノ途マテ開イテ、納稅義務者ノ權利ヲ守護スルコトニ付テ更ニ遺憾ナク規定が立テラレテアルノデアル、此ノ如クシテ決定ハ一應ノ確定力ヲ有ツンデアル、其確定力ヲ有ツガ故ニ此決定ハ動カスベカラザルヲ原則トシテ居リマスガ、唯一ツ動カス場合ガアル外テモナシ、即チ先キニ決定シタルトコロノ金額ニ付、租稅ノ減額ヲ求ムベキ場合、此場合ハ營業稅法ニ依リマスレバ三十一條ノ規定ガアリマスルシ、所得稅法ニ依リマスレバ四十條ニ規定がアリマス、即チ營業稅法ノ二十一條若ハ、所得稅法ノ四十條等ニ其確定力ヲ有ツガ故ニ此決定ハ動カスベカラザルヲ原則トシテ居リマスガ、唯一ツ動カス場合ガアル外テモナシ、即チ先キニ決定シタルトコロノ金額ニ付、租稅ノ減額ヲ求ムベキ場合、此場合ハ營業稅法ニ依リマスレバ三十一條ノ規定ガアリマスルシ、所得稅法ニ依リマスレバ四十條ニ規定がアリマス、即チ營業稅法ノ二十一條若ハ、所得稅法ノ四十條等ニ其確定力ヲ有ツガ故ニ此決定ハ動カスベカラザルヲ原則トシテ居リマスガ、唯一ツ動カス場合ガアル外テモナシ、即チ先キニ決定シタルトコロノ金額ニ付、租稅ノ減額ヲ求ムベキ場合、此決定ヲ確定シタル特定ノ事由が發生シマスレバ、此事由ヲ審査シテ減額ヲ求メ得ルノデアル、唯此減額ノタメニノミ此決定が更メ得ラレルノデアリマス、追徵ノ場合ニ於テ此決定ヲ動スコトハ稅法ノ何レノ部分ニモナノデアリマス、此ノ如ク非常ニ慎重ナル手續ヲ履デ確定シタル決定ト云フモノハ減額ノ場合ニノミ動カスモノ、増徵ノタメニ動カサスト云フコトヲ觀マシタナラバ、不足追徵ヲナス能ハザルハ法律規定ノ當然ノ結果ト云ハナケレバナラヌノデアル、減額ヲシ得ベキ場合ニ於テノミ決定が動カシ得ルト云フコトニ

深ク思ラ注がレマシタナラバ徵收不足ノ場合ニ於テ是が追徵ハ爲シ能ハザルハ當然アリマス、追徵ヲナシ能ハザルト等シ返還ヲ爲サズト云フガ如キハ此法律規定ヲ無視シタル政府ノ強辯ト云フヨリ外仕方ガナイノアリマス、然ルニ此不足追徵ノ場合ト過徵返還ノ場合トヲ引付ケテ巧ミニ一時ノ辯解ヲ爲サントスルト云フコトハ私ハ窮シタル結果ノ答辯トシテ政府ニ御同情ハ表シマスケレドモ、併ナガラ法律規則ヲ無視シテマデ斯ノ如キ言論ヲナサルノハ政府者トシテ甚ダ不謹慎ノ極ト云ハネバナラヌノアリマス、思フニ法律ノ解釋ヲ誤リタルトコロノ徵收ハ即チ法律ノ精神ニ副ハヌトコロノ徵收ニアリマスカラ、手短ニ云ヘバ不法ノ徵收トナルノデアリマス、不法ノ徵收ハ取リモ直サズ違憲ノ徵收トナルノデアリマス、違憲不法ノ徵收ヲシナガラ過去ニ屬スルコトデアルガ故ニ、我返還セズト言ハレタナラバ如何デゴザイマセウ、之ニ依シテ政府ハ國民ニ信ヲ繫グコトが出來ルト思ウテ居ラル、ノデアリマセウカ、私ハ政府委員ニ向シテ此ノ如キ強辯ヲ弄セラル、コトハ御慎ミナサイト云フコトヲ御勸メ申サナケレバナラヌノデアリマス、達憲トカ云フ文字ハ誠ニ耳ニ障ル言葉ニアリマスカラ、暫クス様ナ言葉ハ避ケルト致シマシテモ免ニ角餘分ニ徵收シタル金額ヲ返還セズト云フコトハ條理上爲シ得ラレル道理デゴザイマセウカ、餘分ニ徵收シテモ時が過ギタカラ我ハ返サヌト云タナラバ、政府強奪ラ是事トスルモノデアルト云フ非難ヲサレテモ私ハ之ヲ辯解スル餘地ガナカラウト思ヒノデアリマス、誠ニ金額ハ些少ニアリマスケレドモガ、法律規定ニ副ハザルトコロノ事柄デアルト云フコトハ唯今迄申述ベルトコロノ如ク殊ニ又條理上多クノモノヲ取テ是が返還ラナサヌト云フコトハ政府者トシテ爲シ得ベキ道デナイト思ヒマスガ故ニ、茲ニ政府ハ唯今迄委員會以來述ベラレタルトコロノ強辯ヲ撤回サレマシテ快ク委員長ノ報告ニ服サレテ、サウシテ此金額ヲ返還スルト云フコトノ決議ニ同意セラル、ガ當然ノ手段デナイカト思ヒマス

(「採決ヲ願ヒマス」委員長報告通り「ト呼フ者アリ」)

○議長(大岡育造君) 採決ヲ致シマス、明治四十二年歲入歲出總決算明治四十二年各特別會計歲入歲出決算、右ハ委員長ノ報告通り御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」と呼フ者アリ)

○議長(大岡育造君) 御異議ガナケレバ委員長ノ報告通り確定致シマシタ、日程第六、辯護士法改正法律案、委員長岡田泰藏君

第六 辯護士法改正法律案(岡田泰藏君)
第一讀會ノ續(委員長)

(岡田泰藏君登壇)

○岡田泰藏君 ソレダヤ御報告致シマス、此辯護士法改正法律案ハ委員會ノ結果ヲ申上ゲマスルト修正ヲ加ヘマシテ可決ニナツノデアリマス、委員會ハ全員一人ノ反對者ナク之ヲ可決致シタノデアリマスガ、政府ニ於キマシテハ同意致シ難イト云フ意見デアリマス、此政府委員ト委員トノ間ニ要點ニ付キマシテ意見ノ相違シテ居リマスル一二三點ヲ御紹介申上ゲテ御判断ヲ得ニヤナラヌ責任ガアルト考ヘマス、簡単ニ申上ゲマスルガ、此改正案ノ一番主要ニナツテ居リマスル點ハ辯護士會ト云フモノヲ自治ノ精神ニ思ウテ人格ヲ與ヘテ法律上法人ト之ヲシャウト云フ制度ノ變化アリマス、此點ニ對スル政策ノ意見ト致シマシテハソレハ法人ニスル必要ハナイ、辯護士會ナルモノヲ現在組織セシメテ居ル辯護士法ノ精神ナルモノハ是ハ司法行政ノ監督上便宜ノタメニ辯護士會ナルモノヲソレく設立セシメテ居ルノデアルカラ、言葉ヲ換ヘテ云ヘバ辯護士ノタメニ辯護

士會ト云フモノハ認ケテアルノデナイ、司法行政ノ監督上總ノノ辯護士ニ對シテ個々ニ之ヲ監督スルノハ不便デアルカラ、之ヲ一團ヲ設ケテ便宜上之ヲ監督スル方法ニ辯護士會ハシテアルノデアル、斯ウ云フ意見ヲ尙將來ニ對シテモ辯護士會ノ上ニ維持シタリト云フ御考ノヤウニ見エルノデアリマス、尤モ政府委員ノ御意見ニ於キマシテハ現在ノ辯護士會ハ明治二十六年ノ制定ニ係リテ居ルモノデ、爾來二十年近ク相成シテ居ル此改正ト云フコトニハ自分等モ必要ヲ感シテ多少注意ヲ拂ヒ、取調ニ著手シテ居ルノデアルケレドモ、諸之ヲ直ニ法人トスルト云フコトハ意見が違フ、斯ウ云フノアリマス、ソコテ委員全體ノ意見トシマシテハソレハサウズナイ、成程國ト云フモノ、立場カラ見レバ、司法行政ノ監督上便宜ノタメニ辯護士會ハ設立サレテ居ルデアラウケレドモ、辯護士會ハ尙此外ニ辯護士自身ノ互ニ品位ヲ高メ、風紀ヲ維持シ節制ヲ保シテ辯護士各自カツレノ節制ヲ維持スルト同時ニ世間ニ對シテ是等團體が惡シキ批評ヲ受ケ面目ヲ害スルヤウナコトノナイヤウニ辯護士會ハ自ラ之ヲ治メテ、サウシテ一面ハ司法行政ノ監督ノ御便宣ニモナルベキモノノデアル、獨リ司法行政監督ノ便宜ト云フタケテナクテ辯護士ノタメニ此會ト云フモノハ造ラレルト云フ半面ニモ重キナリテ、サウシテ此ニシノ考ヲ以テスル公法人ト云フ人格ヲ與ヘルノガ相當タルト云フコトヲ以テ委員會ハ此意見ヲ維持シマシタノデス、之ニ伴レテ懲戒裁判ヲ辯護士會ニ於テ開クト云フコトヲ通則ニシテ、サウシテ覆審ノ場合ヲ置ク、斯ウ云フモノモ是ハ唯今申シタ法人ノ場合ニ附帶シテ當然設ケラル規定ニアリマシテ、委員會ハ是等ニ對シテ必要ナリト見タノ考ヲ以テスル公法人ト云フ改正、又ハ辯護士タルベキ資格ニ付テ試験制度ヲ嚴正ニ守ツタノデス、之ニ伴レテ懲戒裁判ヲ辯護士會ニ於テ開クト云フコトヲ通則ニシテ、サウシテ覆審ノ場合ヲ置ク、斯ウ云フモノモ是ハ唯今申シタ法人ノ場合ニ附帶シテ當然設ケラル規定ニアリマシテ、委員會ハ是等ニ對シテ必要ナリト見タノ考ヲ以テスル公法人ノ監督ヲ得タリト云フ改正、又ハ辯護士タルベキ資格ニ付テ試験制度ヲ嚴正ニ守ツテ往キタリ云フ點、是等ニ付キマシテ委員會ハ改正案ヲ至當ナリト見テ審査ノ結果、以上述ベタ四項目ニ對シマスル要點ニ何等異存ハ持チマセナシダ、ソレテ改正ハ法文ノ修正ヲ加ヘマシタノデ其重ナルモノハ辯護士會ノ目的ヲ明カニシヤウト云フテ、之ヲ法文ニシマシタコト懲戒裁判開始ノ手續が不十分デアルカラ、尙法文ノ上ニ之ヲ明カニシタイ云フ意見等ガアリテ、之ヲ訂正シマシタ、此他數多ノ修正ヲ加ヘマシタガ、要スルニ改正案ノ主義ト致シマシタ、之ヲ公法人トスルコト其他ニ付テ委員會ハ至當ナリト見テ之ヲ決シタノデアリマス、此公法人ノコトニ付キマシテハ幸ニ政府ヨリ獨逸、英國、佛蘭西ニ於ケル辯護士法ノ材料ヲ與ヘラレマシタ、是等ニ依シテ委員會ハ尙十分ニ調査ヲ遂ゲタノデアリマスルガ、獨逸、英吉利亞佛蘭西ノ辯護士法ニ於キマシテモ是ハヤハリ公法人シテ見テ居ル例が多イノデアリマス、其他懲戒ノコト等モ吾々が改正好ヲ企テタル考ト偶然ニモ相一致シテ、其歸著點が同一デアルコトノ多クヲ見出シタノデアリマシテ、是等ノ材料ニ依シテ尙改正案ヲ是ナリトシテ可決シタ次第テゴザイマス、ドウカ御賛成ヲ願ヒマス(拍手起ル)

○議長(大岡育造君) 本案ノ第一讀會ヲ開クヤ否ヤヲ詮リマス

○恆松隆慶君 本案ハ讀會ヲ省略シテ直ニ確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(大岡育造君) 恒松隆慶君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」と呼フ者アリ)

辯護士法改正法律案 確定議

第七 治安警察法中改正法律案(日野國) 第一讀會ノ續(委員長)

(阿部徳三郎君登壇)

○阿部徳三郎君 委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、本案ハ提出者ヨリ原案維持ノ御演説セアルサウニアリマスカラ、チヨット委員會ノ經過ノ概要ヲ御報告シヤウト思ヒマス、本案ノ改正ヲ要求スル箇條ハ三箇條バカリアルノデゴザイマスルか、其第一ハ治安警察法ノ第二條ニ此議員選舉ノ場合ニ其準備ノタメニ選舉人又は被選舉人ノ會同ヲスル場合ニハ其選舉ノ日ヨリ五十日以前ハ居出ヲ要セヌ、斯ウ云フ規定がアルノデアリマス、ソレヲ改正案ニ於テハ選舉人ト限ラズ、之ヲ一般ノ公衆ニモ適用シタイ、斯ウ云フト云ノガ其ツデアル、ソレカラ第三ニハ治安警察法ノ第五條ニ依リマスルト、女子ノ政談集會ノ場合ニハ十二時間前ニ居出ヲ爲セト云フ規定がアルノデアリマス、ソレヲ改正案ニ於テハ第一條ノ集會ノ場合即ち選舉準備ノタメニ其集會ノ場合ニハ其十二時間ト云フ制限ヲ取除キタイ、斯ウ云フノガ第二デアル、ソレカラ第三ニハ治安警察法ノ第五條ニ依リマスルト、女子ノ政談集會ニ傍聽ナルコトヲ禁止シ或ハ此發起人トナルコトヲ禁止シテ居ル〔議長大岡育造君議長席ヲ退キ、副議長肥塚龍君議長席ニ著ク〕

○阿部徳三郎君 又未成年者モ同様デアル、此政談集會ノ傍聽ヲ禁止スルト云フ女子ヲ除キタイ、或ハ未成年者ヲ除キタイ、斯ウ云フノカ第二點アル、此點ニ對スルトヨロノ政府委員ノ意見ヲ承リマスルト此第一第一ノ場合ニ於テハドウシテモ今日ノ場合取締上同意スルコトガ出來ナシ、成程選舉人ト被選舉人トノ關係ニアリマスレバ、其集會スル範圍モ極タニ居ル、併ナガラ之ヲ多衆ノ場合ニ適用スルコトニナルトイロ／＼騒動等ノ起ル危險モアルカラ致シテ取締上同意が出來ヌト云フノデアリマス、ソレカラ第二ノ十二時間前ニ居出ヲ要スルト云フコトモ之ヲ全廢スルコトニナリマスト會場ノ取締道ノ取締又其他會主ト其他ノ人トノ取締等ニ付テイロ／＼治安上取締ノ必要がアルノアルカラ、是モ廢スル譯ニハイカヌ、トスウ云フノデアリマス、ソレカラ第三ノ點ニ至リマシテハ此政談集會ニ婦女子出入セシムル、或ハ未丁年者ニ政談演説ヲ聽カセルト云フヤウナコトハ、今日ノ日本ノ狀態トシテハドウモ同意ヲ致シ兼ネル、元來女子ナル者ハ其性上人ノ妻トナルベキモノアル、既ニ一人ノ妻トナシタ以上ハ十分家庭ニ力ヲ伸バサヌケレバナラヌモノアルガ、然ル二人ノ妻トナシテ、サウシテ政談集會等ニ出入ヲシテ、夫ト政治上意見ヲ異ニスルト云フヤウナコトガアッテハ自然ニ此家庭ノ秩序ト云フコトモ是ガダメニ破壊サル、ト云フ危險ガアルノデアルカラ、ドウシテモ今日ノ場合同意ハ出來ヌ、ソレカラ未成長年者ニ對シテハヤハリ是ハ此學校教育上弊害ヲ來ス危險ガアル、デ多クノ青雲ヲシテ生涯ヲ誤ラシムルト云フヤウニナシテハ甚ダ恐ルベキコトデアルカラ、是モ同意ハ出来ヌ、斯ウ云フコトニアリマス、委員會ニ於キマシテハ以上政府委員等ノ意見ヲ聽キマシテ、今日ノ場合尙現行法ノ儘ニシテ置ク方が宜シ、ソマリ此改正ヲ爲スノハ時機が尚早イ、斯ウ云フ意味ヲ以チマシテ委員會ニ於テハ多數ヲ以テ本案ヲ否決シノアリマス、右御報告ヲ致シマス(拍手起ル)

○不成立賛成ト呼ブ者アリ

○日向輝武君 質問ガアリマス

○日野國明君 議長

○副議長(肥塚龍君) 日野君

○日向輝武君 質問ガアリマス

○副議長(肥塚龍君) 日野君ニ許シマシタ

(日野國明君登壇)

○日野國明君 本員等ノ提出ニ係リマス治安警察法ノ改正ハ唯今委員長ノ御報告ニナリマシタ通り、政府委員ノ反對ト政友會ノ委員諸君ノ反對ニ依リテ委員會ハ否決サレタノデアリマス、ソレデ案ノ内容及大體ノ趣意ハ之ヲ再ビ述べル必要ハ無イノデアリマス、政府ノ反對セラル、理由及政友會ノ委員諸君ガ反對セラル、理由ノ甚ダ當ラ得ナイコトヲ一言シタイト思フノデアリマス……恒松君ハ政友會デハ免モ角モ號令スル人々カラ彼此物ヲ言ハナイヤウニシナイトイカヌ(「問題外」ト呼ブ者アリ)ソレヲ言フノハ問題外デナシカ、何故黙シテ聽イテ居ラヌ(「分ラヌコトヲ言フナ」ト呼ブ者アリ)ナニ邪魔ヲスルナ、議論ガアラバ議論ヲシタラ宜イ(「要ラヌコトヲ言ハズニ默シテ居レ」ト呼ブ者アリ)ナニ議論ガアレバ此後トテ大ニ讀論フセイ(「辯士届スル勿レ」ト呼ブ者アリ)ナカケリシナ、先づ便宜上カラシテ婦人ノ政談集會ニ會同スルコトノ不可デアルト云フ政府ノ意見カラ攻撃シテ見タイト思ヒマスガ、政府ノ見ルトコロニ依ルト婦人ニ政談集會ニ會同スルノ自由ヲ與ヘルト云フト、政治上ノ議論ナドニ面白味ヲ持シテ來テ、家庭ノ任務ヲ拋テ此政談集會ヘ出テ行クコトニナル、サウスルト一家ノ上ニ於テ婦人ノ爲スベキ仕事ヲ爲サナイコトニナルカライカ奈イ、之ガ第一ニアリマスケドモ段々社會ノ進歩ニ伴トヨロノ婦人ノ智識、婦人ノ位置が進シテ參ルニ從ツテ、婦人が家庭ノ中ニ何時マテ引込ンレテ婦人ノ智識、婦人ノ位置が進シテ參ルニ從ツテ、婦人が家庭ノ中ニ何時マテ引込ンスル婦人が其時間ノアル場合ニ、政治上ノ集會ニ活動スルト云フコトハ是ハ當然ノ勢ニアシテ、何人モ拒ムコトハ出來ヌノアリマス、或ハ慈善ノコトアルトカ、或ハ教育ノコトアルトカ云フ事柄ニ付テ、今日我日本ノ婦人が活動スルコトノ段々増シテ居ルト云フ事實ハ何人モ否認スルコトノ出來ナイコトデアリマス、サスレバ慈善宗教是等ノコトニ付テ活動スル婦人が其時間ノアル場合ニ、政治上ノ集會ニ活動スルト云フコトニ於テ何ノ不可ガアリマセウ、若モ婦人が家庭以外ノコトニ働くノが惡ルイト云フナラバ、ソレハ政談集會以外ノ事ニ於テモ惡イト論シナケレバナラヌ譯デアル、要ハ此政談集會ニ來ル人ノ中ニ多少ソレガタメニ家庭ノ任務ヲ怠ルモノガアルトシテモ、ソレハ其人ノ心得違ヒニアルダケモノコトテ、ソレガタメニ家庭ノ任務ヲ怠ラシシテ政談集會ニ出ルコトノ出來ルモノマテアリモ禁止スル理由ハ安クニ在ルカ、政府委員ノ或人ノ如キハ委員會ニ於テ私が今ノヤウナ議論ヲシタコロガ、一體近來ノ婦人が何々會杯ト云フモノニ飛出スノハ甚ダ面白クナインデアリマスト言シテ、政談集會以外ノコトニ付テマテモ甚ダ心配シテ居ルヤウナ議論ヲシテ居ラレタノデアリマス、斯ウ云フ議論ハ餘程時代後レノ御議論デアルト私ハ思フノデアル、ソレカラ更ニモウ一ツ此以上進シテ政談集會ニ出席サスト云フコトニナルト、段々婦人が政治上ノ意見ヲ持ツコトニナル、持ツコトニナル結果、夫ト意見ヲ異ニスルト、其爲メニ平和ヲ破ル恨レガアルト云フノデアリマス、私共ハ我日本ノ婦人ヲ外國ノ御轉婆婦人ト同様ニ視クト云フコトハ甚ダ不當デアルト信ジテ居ル、若モ日本ノ婦人が歐羅巴ノ婦人ノ如キモノデアルト言ハル、諸君ガアルナラバ、茲ニ一例ヲ舉ゲテ見ヤウ、日本ハ隨分御歴々ノ内閣ノ大臣ト云ハレヤウナ御方トカ、元老トカ云ハル、御方ミニ於テ、公然妾ヲ蓄ヘテ居ラル人ガ隨分アリマスガ、斯ウ云フコトハ體外國ニナド云フコトハ、恩ヒモ寄ラスコトデアルト考ヘル(藏内治郎作君)ナカノサウハ行カ

ナイヨ」ト呼フ君ノ細君ハ行カナイシテモ——藏内君ハ御心配ナサル細君ガアレバ特
別ノ御注意ヲ要スル——ソレカラ未成年者ノ政談集會ニ會同スルコトヲ禁ズルト云フ
點ニ付テ政府委員ノ意見ハ政談集會ニ會同スルヤウナコトヲ許スト、青年ノ間ニ於テ務
ムベキ學問ヲ怠ルト云フ惧ガアル、斯ウ云フノアリマス、此點ニ付テ委員會ニ於テ村松
君カラシテ青年ニ政治上ノ智識ヲ與ヘルコトニ付テノ可否ト云フ點ニ付テ質問ガアッタ、
サウスルト政府委員ハ立憲國ニ於テハ未成年ノ人ニモ政治上ノ智識ヲ與ヘルト云フコ
トハ隨分必要アラウト思フ、其點ハ敢テ反對ラシナイ、斯ウ云フコトヲ言ハレル、之ハ
サモアルベキ筈ニアリマス、既ニ未成年者ニ政治上ノ智識ヲ與ヘルト云フコトが必要ア
ルト認メラル、ナラバ、其未成年者が差支ナキ時間ヲ割イテ、政談集會ニ臨ムト云フコ
トヲ禁止シ、即チ政治上ノ智識ヲ得ルト云フ口ヲ塞グト云フコトハ甚ダ理由ノナイコトデア
リマス、或ハ政談集會ニ臨ムガタメニ學業ヲ抛ヅテシマウト云フ如キモノガ萬一生ジナイト
云フコトハ、是ハ保證ハ出來マヌケレドモ、ソレハ杞憂ニアッテ、本人ノ心得或ハ父兄ノ
監督ニシテ其當ラ得ルナラバ、政治上ノ集會ニ會同モシ、サウシテ其學問ノ發達ヲ少シ
モ妨ケラレズシテ行クコトが出來ルノアリマス、斯様ナ譯ニアリマスカラ女子ト未成年者
ニ政談集會ニ會同スルト云フコトヲ許サナイト云フ政府ノ理由ハ殆ド探ルベキ所ガ無イ、
況ヤ政談集會ニ入ルコトハ禁ジテ居ルガ、併ナガラ過日モ述ベシタ通り書物ニ依テ政
治上ノ智識ヲ得ルコト、新聞雜誌ニ依テ政治上ノコトヲ知ルコト、衆議院或ハ府縣會、
市町村會、郡會等ヲ傍聴シテ實際ノ政治ヲ知ルト云フ點ニアリマス、是ハ政府委員ノ解釋スルトコロニ依ル
此政談集會ノミニ入ルコトヲ禁ズルト云フコトハ、益、理由ナキコトニナルノアリマス、ソ
レカラ次ハ第二條ノ法令ニ依テ組織サレテ居リマスル會ノ選舉ノ準備ニ開クトコロノ政
談集會ニ無居デ會合セシムルト云フ點ニアリマス、是ハ政府委員ノ解釋スルトコロニ依ル
ト、此選舉ノ準備ノタメニスルトコロノ集會ヲ其五十日以前特ニ無居デ許スコトニシテ
居ルト云フノハ目的ガ選舉ノ準備ト云フコトデアルガ故ニアラズシテ、選舉人ト被選舉人
トノ會合ト云フモノハ人數が少ナイカラシテ取締ガ樂デアルト云フ意味ヲ以テ許シテアルノ
談集會ニ無居デ會合セシムルト云フ點ニアリマス、是ハ政府委員ノ解釋スルトコロニ依ル
此政府委員ノ治安警察法ノ解釋ハ誤シテ居ルト思フノアリ、選舉人ト被選舉人トが
集マル場合ハ常ニ其集會が少數ノ集會デアルカト云フト、サウデハナキ、選舉被選舉人
以外ノ者ノ集マル集會が常ニ多數アルカト云ヘバ、サウデハナク、集會ノ人ノ多數或ハ
少數ト云フコトハニ會スル人、演説ラスル人ノ如何ニモ依レバ、場所ニモ依リ、時ニモ
依ルノデアル、必シモ選舉人被選舉人ノ集マル會ハ少數アルト定ラモノデハナキ、此
法律ヲ設ケタ趣意ハ何所ニアルカト云ヘバ、選舉競爭ニ於テ最モ適當ナル最モ喜ブベキ
手段ハ何モアルカト云ヘバ、政談集會デアル、政談集會ハ最モ進歩シタル選舉競爭ノ
道具デアルト云フコトヲ法律ハ認メテ居ルノアリ、法律ハ政談集會ハ選舉準備ノタメ
ニ必要右益ナルモノデアルト認メテ居ルカラシテ、選舉準備ノタメニスル場合ニ於テハ特ニ
法律ヲ治ヘタル方ガ此法律ヲ作ツタ趣旨ヲ完全ニ達シヤウトスレバ、五十日以内ハ選舉人ト限ラズシ
テ、其他ノ者モ會合スルコトヲ許スコトニスル、サウシテ目的ガ選舉準備ノタメト云フコト
五十日間ハ無居デ開會シテ構ハヌト云フコトニシテアルノデアル、然ルニ現在ニ於テハ特ニ
ニ定ラテ居ルノデアルカラ、其以外ニ瓦ル場合ニハ之ヲ處罰スルコトが出來ルノアリ、斯
様ニスル方ガ此法律ヲ作ツタ趣旨ヲ完全ニ達シ得ラル、ト私ハ考ヘテ居ルノアリ、ソレ
カラ屋外ノ集會ハ現在ニ於キマシテハ十二時間以前ニ届出ラシナケレバナラスト云フコト

ニナツテ居ル、是ハ屋外ノ集會ト云フコトニナレバ、炬火ノ行列ヲスル場合モアレバ、大運
動會ヲスルト云フヤウナコトモアル、故ニ多クノ時間以前ニ於テ警察ハ相當ノ取締ヲ爲ス
必要アリマスカラ、此十二時間ト云フコトヲ設ケテ居ルノアリ、所ガ政談集會ノ場合
ニ於テハ左様ナ取締ヲ爲ス必要ハ無イノアリマス、テ選舉準備ノタメニスルモノハ居
ノ議論ノ誤ラザルコトヲ證據立アルタスニ、極其一二點ヲ申シマスルガ、明治四十二年
ニ全國ニ於テ開カレマシタコロノ政談集會ノ數ト云フモノハ、千五百八十六回デス、
ハ此四十二年ニ於テ最モ多ク政談集會ヲ開イテ居リマス、一百六十七回ト云フ多クノ
ルカト云フト東京ニアル、是ハ私ノ考ヘルトコロニ依ルト社會主義者ノ集會デアッタ思ヒマ
ス、其他ノ集會ニ至リマシテハ殆ド中止ヲ命ゼラレタト云フヤウナモノハナインデス、大阪府
ハ此四十二年ニ於テ最モ多ク政談集會ヲ開イテ居リマス、一百六十七回ト云フ多クノ
政談集會ヲ開イテ居リマスガ、一回モ中止セラレタモノハ無イ位アル、斯様ナ譯ニアリマス、
此政談集會ハ或一部ノ人間ニ就テ相當ノ取締ヲスルナラバ、總テノ政談集會ニ左様ナ嚴重ナ
取締ヲスル必要モナイ、殊ニ事實ノ上ニ申シマスナラバ居出ト云フモノハ無クとも、警察
ハ取締ルコトが出來ルノデアル、何故カト云フト政談集會ヲ爲ス場合ニ於テハ澤山ノ人
ヲ集メルタメニ或ハ之ヲ新聞ニ廣告スルトカ、或ハ揭示ヲ爲ストカ云フ方法ニ依テ、豫
メ人ヲ招クコトヲ設シマスルカラシテ、居出ヲシナクトモ警察ハ之ヲ知ルニ十分ナ餘地ガア
ルノアリマス、此新聞廣告ヲシタリ、或ハ貼紙ヲシタリ、或ハ其他ノ手段ニ依テ集會
ヲ開クコトヲ公ニシテ居ル場合ニ於テモ、尙居出ヲシナケレバソレヲ知ルコトが出來ナイト
云フ程ニ日本ノ警察ハ無能デナイト私ハ思ウテ居ル、斯様ナ譯ニアリマスカラ此各條項
ノ修正ハ何レモ適當デアルト信ジタノアリマスガ、委員會ニ於テハ政友會ノ委員諸君
カラ時期尙早シノ一言ニ葬ラレタノアリマス、御承知デモアリマセウガ一體婦人ノ政談
集會ニ加ハルコトヲ禁ズルヤウニナツタノハ一十年、パカリ前、二十幾年前、其以前ハ許サ
レテ居ツタノデアル、一體政友會ノ前身ノ自由黨ノ人々ハ其主張ノ要件ト致シマシテ言
論集會ノ自由ヲ主張セラレタコトハ御忘レニナツテハ居ルマイト思フ、此現在ノ治安警察
法ハ改正ヲサレテカラ十幾年ヲ經テ居リマス、時期早シトハ何テアリマス、立憲政治ヲ布
イテ二十幾年、治安警察法ヲ作テ十幾年ノ今日ニナツテ、尙時期早シトハ何テアリマ
ス「ヒヤー」「何テモナイ、其通りト呼フ者アリ」我邦ハ世界ノ一等國ナルト當ニ
誇シテ居タル、私ハ委員會ニ於テ政府委員會ニ問ウタ、英吉利、佛蘭西、亞米利加、獨
逸、斯ウ云フヤウナ文明國、一等國ト云フモノニ於テ婦人ノ政談集會ニ干與サセヌ、
或ハ集會ヲ一ヶ前以テ居出ヲセヨト云フヤウナ、コンナ馬鹿氣タ法律ヲ作ツテ居ル處ガ
何處ニアリマスカ、アレバ示シテ下サイト尋ねタラバ、常ハ獨逸ニ斯ウアル、英吉利ニ斯ウア
ル、佛蘭西ガ斯ウアルカ云フコトノ最も好キナ政府ノ委員モ之ニ付テハ一切取調ヲ
シテ居リマセヌカラシテ、枕木ハ下ラヌゾ「ト呼フマダ藏内君ハ其處へ行クテ何カ言ヒ
モ今日ハ我邦ノ一等國ニ進シタ云フコトヲ認メテ居ル諸君ガ、飽マデモ此古イ法律ヲ
守ルノトキデナイト考ヘルノアリマス、政友會ノ諸君能ク御考ヘ下サイ（藏内治郎作君
「ハイカラ」）種蒔ラシテモ、枕木ハ下ラヌゾ「ト呼フマダ藏内君ハ其處へ行クテ何カ言ヒ
マスナ、アナタハ何カ特別ノ事情デ反対ガアレバ、此演壇へ登テヤツテ御覽ナサイ

○日向輝武君 政府委員ハ出席御居ニナリマスカ——尙此際私ハ特ニ政府委員ニ成ベク此關係議案ノ日程ニ上シテ居ル所管ノ政府委員ハ議會ニ敬意ヲ表シテ當然御出席ニナルヤウニ通知ヲ願ヒタイト思セマス、多分政府委員ハ政府委員室ニ遊シテ居ルト思レマス

○副議長(肥塚龍君) 政府委員ハ出席致シテ居リマス

○日向輝武君 然ラバ質問致シマス、此法案ハ讀會ニ於ケル出色ノ法案アル、大ニ私ハ興味ヲ感シテ居ルモノアリ、政府ガ治安警察法第五條ニ依リマシテ青年學生ノ政談演説即チ政治的趣味ノ集會ニ出入スルコトヲ禁ズルノ理由ハ、學術技藝ノ修養ニ妨害アルタメニ之ヲ禁ズルノアルト云フ政府委員ノ答辯アルト云フコトハ、先程ノ議論竝ニ委員長ノ報告及速記録ニ於テ之ヲ拜聽シタノアリマス、此點ニ付テ是非御確メラ願ヒタメニハ何故ニ青年學生ガ政治的集會ニ出入スルコトガ學術技藝ノ修養ニ妨害ガアリ妨害アルト云フコトアルナラバ、政府が或ル意味ニ於テ獎勵ヲ致シテ居ルトコロノ「ボートレース」ハ如何アルカ「ベースボール」ハ如何アルカ柔道、擊劍ノ如キハ如何アルカ、而シテ演劇、寄席、活動寫眞ノ如キハ如何アルカ、若シ學術技藝ノ修養ニ妨害ガアリ妨害アルト云フコトアルナラバ、政府の是等ノ娛樂的集會ニ出入スルヲ禁ズルト以テ之ヲ禁シ、之ヲ維持シ、而シテ他方ニ於テ之ヲ問ハサルト云フノハ矛盾ノ甚シキモノアハナイカト思フノアリマス、「政友會尙此人アリ」と呼フ者アリ更ニ此法律ナルモノハ西郷隆盛ノ亂後政論勃興致シタル明治十三年四年ノ頃ノ制定ニ係ルモノアル、其當時政府ハ非常ナル壓迫ヲ民權論者ニ加ヘタノアリマシテ構ハズ捕ヘテ之ヲ獄ニ投シタノアル、即チ火付、強盜、自由黨ト稱シテ片端カラ羅致シタル專制政府ノ時代ニ制定セラレタルモノアル、其後改正ハセラレマシタケレド立憲政治ノ今日ニ於テハ此ノ如キ法律ハ當然消滅スベキ運命ヲ持シテ居ルノテアツテ、是が今日マテ存續シテ居ルト云フコトハ實ニ一大不思議ノコトアルト言ハナケレバナラヌ、私が考ヘマスルニハ青年學生ガ政治的ノ集會ニ出入シマスルコトハ非常ナル學術技藝ノ妨害トナルカハ知レマセヌケレドモ將來立憲國民ノ政治的智德ヲ涵養スル上ニ於テ是ハ寧口獎勵スベキコト、信ズルノアリマス、政治上ノ國體ハ國家ノ大問題ヲ議ヘル場所アル、其國家民心ノ利害與廢ニ關スル最モ高尚ナルトコロノ團體アリマス、此政治的集會ニ青年學生ガ出席シテ何不可ナルコトガアリマセウ、私ハ此問題ニ付テハ進歩シタルトコロノ政府委員、其處ニ御出ニナル古賀局長が此演壇ニ立タレテ、本員ヲシテ満足セシメテ、喜シテ此黨議三服シテ投票セシムルトコロノ答辯ヲ與ヘラレントコトヲ望ミマス

(政府委員法學博士古賀廉造君登壇)

○政府委員(法學博士古賀廉造君) 唯今日向君ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、其御答が日向君ヲシテ満足ヲ得セシムルヤ否ヤ、私ニハ保證ハ出來マセヌケレド說ニ臨ムコトヲ許サヌト云フコトハ甚ダ宜シクナイト云フ御質問アル、殊ニ「ボートレ

ス」「テニス」其他ノ遊技ニ對シテハ何等ノ禁制ハナイデハナイカ、而シテ最モ高尚ナル政談演説等ニ臨ムコトヲ許サヌト云フコトハ矛盾ノ甚シキモノアリト云フ御趣旨ノ御

演説アルヤウニ承リマシタ、學生ノ學問ノタメニハ體育ノ競争ハ最も必要アリマス、其體育ノタメニ備ヘラレタル遊技ハ是ハ寧口獎勵シテモ、禁ズル譯ハアリマスマイ(浪花節ハ如何「活動寫眞ハ體育カ」ト呼フ者アリ)政談演説ヲ聽ク、果シテ何ノ益ガアリマセウ「ノウカ」私ハ本案ニ對シテハ未成年者ヲ禁ズルト云フノアス、總テノ青年ヲ禁ズルトハ言ハナイノアス、未成年者之ヲ聽イテ何ノ利益ガアル、未成年者ハ思想未ダ薄弱ニシテ多クハ事ニ感シ易ク、物ニ移リ易イ、間違シテハ將來ノ大事ヲ誤ルト云フ虞ガアル、此故ニ未成年者ニ政談集會ニ出入スルコトヲ禁ズルノ理由ハ、學術技藝ノ修養ニ妨害アルタメニ之ヲ禁ズルノアルト云フコトアルナラバ、政府が或ル意味ニ於テ獎勵ヲ致シテ居ルトコロノ「ボートレース」ハ如何アルカ「ベースボール」ハ如何アルカ柔道、擊劍ノ如キハ如何アルカ、而シテ演劇、寄席、活動寫眞ノ如キハ如何アルカ、若シ學術技藝ノ修養ニ妨害ガアリ妨害アルト云フコトアルナラバ、政府の是等ノ娛樂的集會ニ出入スルヲ禁ズルト以テ之ヲ禁シ、之ヲ維持シ、而シテ他方ニ於テ之ヲ問ハサルト云フノハ矛盾ノ甚シキモノアハナイカト思フノアリマス、「政友會尙此人アリ」と呼フ者アリ更ニ此法律ナ

弱ニシテ多クハ事ニ感シ易ク、物ニ移リ易イ、間違シテハ將來ノ大事ヲ誤ルト云フ虞ガアル、此故ニ未成年者ニ政談集會ニ出入スルコトヲ禁ズルノアリマス、此位ノ答辯ア足ルト思ヒマス

○佐々木安五郎君 政府委員ニ尋ネタイ箇條ガアル、未成年者ニ政談演説ノ筆記ハ屢々新聞ニ載ルトテ學術上ニ害ガアルト云フ唯今御演説ニアツタ、政談演説ノ筆記ハ屢々新聞ニ載ル、此新聞ニ載ルコトヲ禁ズルノ意思ガアルカドウカ、新聞ニ載ラバ政談演説ノ傍聽筆記ヲ取締ル法ハ何處ニアル、果シテ然ラバ耳ヲ掩ウテ目ヲ閉イテ居ルノアル、目ヲ閉イテ耳ヲ掩フノアル、此意味ニ於テ矛盾ノ最モ甚シキモノアル、殊ニ此婦人ニ聽カセテ宜イ

トカ惡ルトカ云フ議論ガアルガ普通ノ場合ニ於テハ警察官が自由ニ取締ノ出來ル政談演説會ニ婦人ヲ參加セシメズ、警察官ノ力以外ニ如何ナル言論デモ自由ニ出來ル衆議院ニ於テ婦人傍聽席ニ婦人ノ傍聽ヲ許シテ居ルハ、ドウ云フ譯アルカ、此矛盾ハドウ云フ譯アルカ矛盾デナイト云フナラバ、ドウ云フ譯テ矛盾デナイカ之ヲ承リタ

(政府委員法學博士古賀廉造君登壇) 演説アルカ矛盾デナイト云フナラバ、ドウ云フ譯テ矛盾デナイカ之ヲ承リタ

○政府委員(法學博士古賀廉造君) 唯今ノ佐々木君ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、凡ソ物ニハ程度ガゴザイマス、餘り極端ナコトハヤリタクナイモノアス、其程度ヲ極端ト極端ニ走シテ矛盾ト仰シャレバソレマシテノコト、尙私ノ答辯シタノハ今日ノ程度デハ是ケテ宜カラウは害がアラウト云フニ過ギナイノアリマス

○副議長(肥塚龍君) 採決致シマス、本案ニ關シ、二讀會ヲ開クベシト云フ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

○副議長(肥塚龍君) 少數
〔政友會モ當年ノ意氣アレバ總立ニナルベシ」ト呼フ者アリ〕
○副議長(肥塚龍君) 本案ハ委員長ノ報告通り否決ニナリマシタ、日程第八、北海道多額納稅議員選出ニ關スル建物議案ヲ議題ト致シマス、遠藤吉平君

第八 北海道多額納稅議員選出ニ關スル建議案(遠藤吉平君)
外三名提出)

北海道多額納稅議員選出ニ關スル建議案

北海道多額納稅議員選出ニ關スル建議案

今ヤ北海道民モ人文ノ發達、納稅ノ負擔臺モ各府縣民ト異ナル所ナク全道ヨリ六名ノ衆議院議員ヲ選出シ且人口國富ノ増進三伴ヒ他ノ一般ニ准シ其ノ均衡ヲ保持シ定員増加ノ議アリト聞ク
然ルニ各府縣民ハ貴族院令ニ依リ土地或ハ工業、商業ノ多額納稅者中ヨリ貴族院議員ヲ選出シ得ルニ拘ラズ獨リ北海道民ニ此ノ多額納稅議員選出ノ權利ヲ付

與セサルハ國民參政權ノ均衡ヲ破ル一大關點ナリト認ム政府ハ速ニ相當ノ詮議ヲ盡シ北海道多額納稅議員選出ノ道ヲ講セラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔遠藤吉平君登壇〕

○遠藤吉平君 本建議案ノ趣意ヲ一言述ベマス、此北海道ニ於テ多額納稅議員ヲ選出シタイト云フ趣意ハ、彼ノ開拓使以來段々人口ヲ増シテ四十二年度末ニ既ニ三百六十一万何千人ト云フ人口ニ達シ、又多額納稅者カラ云シテモ個人ニシテモ五六万圓位ノ多額納稅者ガアリ、全道ヲ通シテハ最早消費稅其他ヲ入レ、ベ七八百萬圓モ納稅シタルガアル、北海道ニ屬スルモノハカリ五百萬圓モアル、其中ニ關稅トカ何トカ云フモノハ或ハ漁業ノ豐凶ニ依シテ減タリ增シタリスルコトハ免レナイガ、一面ニハ例ヘバ陸ノ鑛山ト云ヒ、又諸會社ノ收穫ニ於テモ隨分炭礦汽船會社ノ如キハ、是マテ北海道デ納稅シタルガ本社ヲ東京ニ移シテ、東京ニ納稅ヲスルト云フノハ、獨リ炭礦會社ノミナラズ、例ヘバ富士製紙會社ダラウガ、三井ダラウガ、其他ノ會社テモサウ云フトコロカラ増減ガアルケレドモ、併シ是ハ北海道ノ產物カラ生ズル稅ヲ北海道ニ納稅スルノト、東京ニ持ツテ來テ納稅スルノト、唯直接ニ納メルノト、少シク手ヲ伸ハシテ遠方ニ納メルトノ差ガアルノミテ、其實北海道カラ生レタ此產物即チ礦物デアレ、木材デアレ、製造所デアレ、年々増額シテ行クコトハ論ヲ俟タナイ、サウ云フヤウナ次第アリ、ソカラ稅額ノコトハ今申ヤウナ次第アリ、人口ニ於テモ年々是カラ増殖シテ行ク、前ニ述ベタ如ク四十二年度末ニハ百六十一万五千人テアタケレドモ、四十四年度ハ未ダ調査ガ完了シテ居ナイガ、四十五年度ニ至ルマテニハ餘程人口ガ殖エテ居リマス、是カラ先キハ御承知ノ通リ北海道ハ餘程面積モアリ、尙十分移住民ノ入ル餘地モアツテ、北海道ノコトニ付テ北海道ノモノガ言ヒト、我田引水ノヤウダガ、北海道ハ日米ノ如キモノデ、府縣ノ人民ハ年々北海道ニ移住スルコトヲ勸誘シ、手引キラシテ、サウシテ移住ヲサスコトニナツテ居ル、事業デモ例ヘバ彼ノ三菱ダラウガ、三井ダラウガ、總テノモノハ海陸ノ產物共ニ皆手ヲ著ケテ居ル、北海道ト云セナガラ日本ノ北海道アル、ソレデアルカラ稅ノ額ト云ヒ、總テノモノガ年々増加シテ行グノニ、未タ多額納稅議員ヲ出サヌト云フコトハ甚ダ不公平ナコトハ申スマテモナイ、且衆議院議員ハ是マテ六名出テ居ルトコロヲ又今度ノ政府案ニ依シテ、モウハ名増スコトニナツテ居ルノニ、北海道ノ多額納稅議員ト云フモノハ一名モ出サヌト云フコトハ最モ不公平ノミナラズ、政治上ニ付テモ此多額者ハ是マテハ何レノ地方モナウカト思フガ、政治嫌ヒテ所謂代議士トカ何トカ云シテ行クト、ハヤ避ケル一方ニナツテ居ル、ソレダカラスウ云フヤウナコトハ成ベク導クヤウニシテ、例ヘバ北海道デ多額納稅議員ナドロ出シテ、十分中央ヘ人物ヲ出シテ其事情ヲ知ラシメルヤウニシタインガ希望アリマス、ドウカ此建議案ニ付アハ皆様黨派ヲ問ハズ、全國ニ關係スルコトアゴザイマスカラ、會期モ切迫シテ居ルシ、ドウカ是ハ讀會ヲ省略シテ可決アランコトヲ希望致シマス

〔小橋榮太郎君「提案者ニ質問ガアルト呼フ」〕

○恵松隆慶君 私が發言權ヲ得マシタ、本案ハ唯今提出者が述ベマシタ如ク、衆議院ニ北海道ノ議員ヲ出シテ貴族院ニ多額納稅者ヲ出サナイト云フノハ、權衡上最モ當ラ

選出シタイト云フ趣意ハ、彼ノ開拓使以來段々人口ヲ増シテ四十二年度末ニ既ニ三百六十一万何千人ト云フ人口ニ達シ、又多額納稅者カラ云シテモ個人ニシテモ五六万圓位ノ多額納稅者ガアリ、全道ヲ通シテハ最早消費稅其他ヲ入レ、ベ七八百萬圓モ納

稅シタルガアル、北海道ニ屬スルモノハカリ五百萬圓モアル、其中ニ關稅トカ何トカ云フモノハ或ハ漁業ノ豐凶ニ依シテ減タリ增シタリスルコトハ免レナイガ、一面ニハ例ヘバ陸ノ鑛

山ト云ヒ、又諸會社ノ收穫ニ於テモ隨分炭礦汽船會社ノ如キハ、是マテ北海道デ納

稅シタルガ本社ヲ東京ニ移シテ、東京ニ納稅ヲスルト云フノハ、獨リ炭礦會社ノミナラズ、例ヘバ富士製紙會社ダラウガ、三井ダラウガ、其他ノ會社テモサウ云フトコロカラ増減

ガアルケレドモ、併シ是ハ北海道ノ產物カラ生ズル稅ヲ北海道ニ納稅スルノト、東京ニ持ツ

テ來テ納稅スルノト、唯直接ニ納メルノト、少シク手ヲ伸ハシテ遠方ニ納メルトノ差ガアルノミテ、其實北海道カラ生レタ此產物即チ礦物デアレ、木材デアレ、製造所デアレ、年々

増額シテ行クコトハ論ヲ俟タナイ、サウ云フヤウナ次第アリ、ソカラ稅額ノコトハ今申ヤウナ次第アリ、人口ニ於テモ年々是カラ増殖シテ行ク、前ニ述ベタ如ク四十二年度末ニハ

百六十一万五千人テアタケレドモ、四十四年度ハ未ダ調査ガ完了シテ居ナイガ、四十五

年度ニ至ルマテニハ餘程人口ガ殖エテ居リマス、是カラ先キハ御承知ノ通リ北海道ハ

餘程面積モアリ、尙十分移住民ノ入ル餘地モアツテ、北海道ノコトニ付テ北海道ノモノガ言ヒト、我田引水ノヤウダガ、北海道ハ日米ノ如キモノデ、府縣ノ人民ハ年々北海道ニ

移住スルコトヲ勸誘シ、手引キラシテ、サウシテ移住ヲサスコトニナツテ居ル、事業デモ例

ヘバ彼ノ三菱ダラウガ、三井ダラウガ、總テノモノハ海陸ノ產物共ニ皆手ヲ著ケテ居ル、

北海道ト云セナガラ日本ノ北海道アル、ソレデアルカラ稅ノ額ト云ヒ、總テノモノガ年々

増加シテ行グノニ、未タ多額納稅議員ヲ出サヌト云フコトハ甚ダ不公平ナコトハ申ス

マテモナイ、且衆議院議員ハ是マテ六名出テ居ルトコロヲ又今度ノ政府案ニ依シテ、モ

ウハ名増スコトニナツテ居ルノニ、北海道ノ多額納稅議員ト云フモノハ一名モ出サヌト

云フコトハ最モ不公平ノミナラズ、政治上ニ付テモ此多額者ハ是マテハ何レノ地方モナ

ウカト思フガ、政治嫌ヒテ所謂代議士トカ何トカ云シテ行クト、ハヤ避ケル一方ニナツテ居ル、ソレダカラスウ云フヤウナコトハ成ベク導クヤウニシテ、例ヘバ北海道デ多額納稅議員ナドロ出シテ、十分中央ヘ人物ヲ出シテ其事情ヲ知ラシメルヤウニシタインガ希望アリマス、ドウカ此建議案ニ付アハ皆様黨派ヲ問ハズ、全國ニ關係スルコトアゴザイマスカラ、會期モ切迫シテ居ルシ、ドウカ是ハ讀會ヲ省略シテ可決アランコトヲ希望致シマス

○副議長(肥塚龍君) 小橋榮太郎君

〔「採決タタキト呼フ者アリ」〕

○副議長(肥塚龍君) 私ハ提出者ノ遠藤君ヲ除イテ東君、高橋君、白石君、此三君ニ御毒シタク、其理由ハ昨年而モ二十七議會ニ於キマシテ本員ハ是ト同一ナル建議案ヲ出シマシタ、然ルニ其際委員會ニ於テ東君ナリ、白石君ナリ、高橋君ナリハ、北海道ヨリ

多額納稅議員ヲ選出スルト云コトニ反對ヲサレタムデアル(「時期尚早シ」ト呼フ者アリ)ソレハ宣シイ、遷善改過ノ結果トスレハ宜シイガ、總テ北海道ノ代議士諸君ハ此弊がアル、私ハドノ派カラ出マシテモ、是ハ是トシ、贊成致シマス、非ハ非トシテ反對致シマス、然ルニ昨年(昨年ハ昨年、今年ハ今年)ト呼フ者アリ)否決シテ今年提案スルナラバ、相當ノ責任アル以上ハ昨年否決シテ本年提案スル理由ヲ多少明カニシナケレバナラヌ(「一年經タカラ育タノダ」ト呼フ者アリ)私ハ決シテ政友會ノ諸君ハ黨派根性ヲ以テ此案ヲ昨年否決シタモノトハ斷言致シマセス

○副議長(肥塚龍君) 静ニ願ヒマス

○副議長(肥塚龍君) 此案ノ理由ノ中ニ私ノ出シタ案ト本案ト相違ノアル點ハ此所ニア

ルト思ヒマス、其點ニ付テ質問致シマス「六名ノ衆議院議員ヲ選出シ且人口國富ノ増進ニ伴ヒ他ノ一般ニ準シ其均衡ヲ保持シ定員増加ノ議アリト聞ク」斯ウ云フノガ私ノ提案ト相違シテ居ルヤウデアリマス、若モ昨年否決シタ諸君が今日之ヲ提案スル理由ハ

今マテハ六名ノ代議士アル、然ルニ今度ハ衆議院選舉法改正ノ結果トシテ六名増加スル、因テ多額納稅議員ヲ出セト云フヤウナ意味ニモ取レルノアル、サウ云フコトニナリマスレバ萬一彼ノ衆議院選舉法改正法案ガ兩院協議會ノ結果不成立ニナツタ場合ハ、ヤハリ現狀ハ六名デアル、其六名モ尙提案者ハ貴族院議員ヲ出セト云フ意味デアルカドウカ、之ヲ一應東君ナリ高橋君ナリ白石君ナリドナクアモ宜シウゴザイマス、尙

一ヲ議員ハ名ヲ街フノモ宜シノデセウ、又功ヲ争フノモ宜シイデセウ、然レ共議會ヘ天下ノ公器アル、自己ノ利害關係ヲ以テ此議會ヲ翻弄スルニ至リマシテハ、決シテ敵スベ

カルザルモノト思ヒマス、何卒サウ云フコトノナイヤウニ特ニ北海道ノ政友會ノ諸君ニ警告致シマス

○副議長(肥塚龍君) 答辯ガナイヤウデスカラ決シ採リマス、恵松君ノ動議ノ如ク、即決ニ御異議ハアリマセスカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ本案ハ決定致シマシタ——次ハ日程第九、官公吏ノ

寄附勸誘又ハ會員募集制止ニ關スル建議案ヲ讀題ト致シマス——翠川鐵三君

「議長ハ可決ノ宣告ヲナスッタソセウカ」又「アシタアシタ」「ソレデ安心シマシタ」ト呼フ者アリ

第九 (岡崎邦輔君外六名提出) 官公吏ノ寄附勸誘又ハ會員募集制止ニ關スル建議案

官公吏ノ寄附勸誘又ハ會員募集制止ニ關スル建議案

官吏又ハ公吏カ種々ナル團體若ハ協會等ノ爲ニ金品寄附ノ勸誘又ハ會員ノ募集ニ從事スルハ其ノ當然ノ職務ヲ曠廢シ且動モスレハ職權濫用ノ弊ニ陥ルノ恐アルヲ以テ政府ハ斷然之ヲ制止セムコトヲ望ム

右建議ス

(翠川鐵三君登壇)

○翠川鐵三君 諸君、私ハ官公吏ノ寄附勸誘又ハ會員募集制止ニ關スル建議案ニ付テ簡單ニ提出ノ理由ヲ説明致シマス(「簡単」謹聽ト呼フ者アリ)最モ簡單ニ致シマス、此案件ハ既ニ二十六議會ニモ提出ニナシテ居ルノデ、官吏ガ或ル團體若クハ協會ノタメニ寄附金ヲ募集シ、若クハ會員ヲ勸誘スルガ如キコトハ極メテ弊害ノ多クシテ甚ダ慎ムベキコトデアル、或ル意味ニ申シマスレハ或ハ勸誘ノ濫用トナリ、又曠職ノ譏リハ常ニ免レナイノデアリマスルガ故ニ、二十六議會ニ於テハ滿場一致ヲ以テ此建議案ハ本院ヲ通過致シタ次第ニアリマス、而シテ二十六議會ニ於キマシテハ政府者モ最モ丁寧ニ慎重ニ此案件ヲ討議致シマシテ、時ノ内務大臣平田男爵ヨリハ此ノ如キ聲明マテモ致シテ居ルノデアリマス、其言明スルトコロニ依リマスレハ苟モ弊害アリト認ムルトキハ之ヲ矯正スルニ躊躇セザルノミナラズ政府ハ直ニ左ノ方法ヲ執ルベシ、其方法トハ何デアルカト申シマルスト、ヨリ二ニ瓦ツテ居ル、曰ク、警察官ヲシテ勸誘ヲ爲サシメザルコト、二官公吏ヲシテ歩合金ヲ受ケシメザルコト、二官公吏ヲシテ現金ヲ取扱ハシメザルコト、此ノ如キ言明ガゴザイ、シタルガ故ニ、當時ノ委員會ハ此言明ニ信頼致シマシテ、其絶對制止ノ建議案ノ一部ニ修正ヲ加ヘマシタ、其修正ヲ加ヘタル趣旨ハ其弊害ヲ矯正スルタメ適當ノ措置ヲ執ラレンコトヲ望ムト云フコトニ委員會ハ訂正ヲ致シマシテ、其訂正ノ結果ガヤハリ本議會ニ於テハ通過ヲ致シテ居ルノデアリマス、此決議以來争フ累ネルコト一年ニ及シテ今日ニ至リ、マシタ間ノ經過ヲ見マスレバ、多少ハ其弊ヲ矯正スルニ足ルベキ節ミガナキモアラズ、アリマスルケドモ、尙今日マデノ有様ニ付テハ此弊根ヲ根本的ニ除去ルコトノ出來ナイト云フコトデハ、到底此目的ヲ完全ニ確實ニ實行スルコトハ得テ期セナイ、所謂不能ノ事柄ニ歸スルモノノデアルト本員ハ信ズルノデアリマス、ナゼカト申シマスルト今日ノ各團體等ノ主モナルモノヲ舉ケテ申シマスレバ、彼ノ海事協會、武德會、海員拔濟會、愛國婦人會等ノ各團體ト云フモノニ付キマシテハ、多數ノ立派ナ人所謂顯官、貴紳ト云フヤウナル人々が多數此中ニアルノデアリマスルガ故ニ、此者カラシテ各地方長官等ニ命令ノ形

式ニ依ルヤウナ公然ノモノニアラズシテ、一片ノ私信ヲ以テ是ガ勸誘ヲ望ミマスルケレドモ、殆ド命令ヨリ以上ニ其私信ガ勸イテ居ルト云フ今日ノ狀態アリマス(ヒヤー)此屬僚ヲ使役シ、大ハ縣ニ參事官ヨリ郡長、下ハ屬僚町村長ニ至ルマ、此意ヲ受ケテ勤クト云フ結果ハ、遂ニ心ナラズモ他人ヲシテ或ル意味ニ申シマスレバ、官權濫用ノ如キ容態ニ陥ルト云フコトハ、是ハ勢ヒ免レナイ次第アル、況ヤ此結果ガテス、單ニ官吏が地方ノ人ニ向ツテ此ノ強制的ノ勸誘ヲ致シ、會員募集ヲ致シマスルノミナラズ、是タメニシテ、進ンデハ職權濫用ヲ爲スト云フコトハ、是ハ多クヲ須井ズシテ誠ニ明カナ事柄デアルノデアリマス(拍手起ル)而シテ唯今述ベマシタルトコロノ海事協會若クハ武德會、海員拔濟會、愛國婦人會等ヲ始メト致シマシテ、隨分此團體ノ上ニ於キマシテハ無益ナリト云フヲ得ザルノミナラズ、寧ロ有要ナル、極メテ有益ナルモノガ澤山アリマスル、此ノ如キ團體ハ官吏ノ手ヲ經ズシテモ當然自立シテ立派ニ參ルノデアル、或ハ會員ノ運動ニ依リ、或ハ新聞記者諸君ノ聲援ニ依リ、講談ニ依リ、演説ニ依リ、種々ナル方法ヲ持シテ自立ノ下ニ於テ活動ヲ致シマスレバ、此會ハ必ズヤ自立スルコト論ヲ俟タナイノデアル(拍手起ル)本員ハ決シテ此會が不必要ナリ無益ナリトノ見地ヨリ斯ク論斷致シタノデハナイノデアル、會其モノ本來ノ目的ニ於テハ固ヨリ有要デアリ、固ヨリ利益ガアルモノトハ存ジマスルガデス、是ヲ官公吏ノ手ヲ藉リテ經營セントスル趣意ニ於テハ、御同意ノ出来ナイ所以ニアル、又折角ノ立派ナル團體若クハ協會ガ、濫リニ官吏ノ力ニ依シテ之ヲ經營セントスルガ如キコトニアリマスルト、強制的ノ結果、本來立派ナル性質立派ナル目的ヲ有スル團體ガ、却テ或ル部分ニ於テハ非常ナ惡感情ヲ以テ迎ヘラル、ヤウナ弊害ナシマシテ、單ニ或ル制限ノ下ニ限定的ノ意味ニ於テ、此ノ如キ寄附金ヲナシメルトカ、若クハ會員ノ募集ヲナシメルト云フガ如キコトハ、到底不可能デアリマスヨリ此機會整理モ當然ニニ伴ウテ改革セラレバキコトハ勿論デアリマスルガ故ニ、此機會ヲ幸ヒト致シマシテ、單ニ或ル制限ノ下ニ限定的ノ意味ニ於テ、此ノ如キ寄附金ヲナシメルトカ、若クハ會員ノ募集ヲナシメルト云フガ如キコトハ、到底不可能デアリマス、地方ノ制度ノ整理モ當然ニニ伴ウテ改革セラレバキコトハ勿論デアリマスルガ故ニ、此機會ヲ幸ヒト致シマシテ、單ニ或ル制限ノ下ニ限定的ノ意味ニ於テ、此ノ如キ寄附金ヲナシメルトカ、クハ寄附金ノ募集等ヲ爲サシメザルベシトノ制止ノ意味ヲ以テ此希望ヲ逐行政シタイ次等デアリマス、願クハ諸君、既ニ二十六議會ニ於テモ滿場一致ヲ以テ通テ居リマス、況ヤ此整理ノ矢先ニ於キマシテ、此ノ如キ案件ヲ提起致シマスルノハ所謂時弊ヲ矯正スルニ最モ適切ナリト信ジマスルガ故ニ、直チニ本案ハ即決可決セラレンコトヲ切ニ希望致シマス(拍手起ル)

○福田又一君 此建議案ハ無論本員モ同意フスルノデアリマスルガ、此ノ如キ制止ニ關スル事柄ハ政府ノ意見一ツテ直ニ極マルノデアリマスルガ故ニ、此場合ニ政府が此

ヲセラレタコロノコトヲ線返サレタノアリマス、要スルニ此修正案ニ對シテ反対セラレタコトハ僅ニ四五分ノ間デアリマス、故ニ私モ四五分間デヤハリ守屋君ノ說ヲ反駁シヤウト思ヒマス、其第一ハ此修正案ヨリ「卽位五十年祭云々」ト云フコトヲ除イタノハ、皇室ノ尊嚴ニ關スル名譽ヲ毀損スルト云フヤウナコトヲ守屋君が言ツテ居ラレマスガ、アレハ定メテ守屋君が眞面目ニ言ハレタコトデハナイト思ヒマス、此博覽會ハ四十五年ニ延期セラレタコトニ付テ會ノ一十六議會デアリマシタカ、議員渡邊勘十郎君が此延期ノ理由ヲ政府ニ向ツテ質問サレタコトガアリマス、其時ニ政府ノ答辯ハ諸般ノ設備ガ此三四年ノ間に於テ不可能デアルソレ、モウ一ツ此博覽會ヲ今一層大キクシテ世界的ニスル考テアルカラ延バシタト云フ、此ニ點ニアツタノアル、卽位五十年ノタメニ博覽會ヲ開カウト云フコトハ政府ハ何レノ場合ニ於テ言ツタカ知レナイガ、是等ハ不公式ノコトアラウト思フ、公式ニ於テ政府が此ノ如キコトヲ發表シタコトハ耳ニシナイノアリマス（「委員會デモ言ヒマシタ」ト呼フ者アリ）若シ之ヲ反対ノ延期ノ理由トシタナラバ、ソレハ卽チ專制ノ思想ヲ持ツテ居ツタコトヲアリマス、故ニ斯様ナコトヲ以テ吾々ハ神聖ナル博覽會延期ノ理由トシタナラバ、卽チ私ハ思フ專制思想ヲ持ツテ居ルトコロノ政治家が與論ノ攻撃ヲ恐レテ、皇室ノ権威ヲ藉ツテ、此博覽會ヲ延バスト云フ口留メニシタコトデアラウト私ハ信ズルノアリマス、故ニ斯様ナコトヲ以テ吾々ハ神聖ナル博覽會延期ノ一理由ト認メテ居ラヌノアリマス、然ルニモ拘ラズ守屋君ノ如キ此新思想ヲ以テ、新智識ヲ持ツテ居ル人ガ、堂々ト此理由ヲ以テ反対シテ居ラレルノハ實ニ守屋君ノタメニ惜ムノアル、加之守屋君ハ委員會ニ於キマシテ、此ノ如キ常識ヲ以テ判断スベカラザル不倫ナル喻ヲ云ツテ居ラレルノアル、前ニモ述ベラタ通リ彼ノ益田萩間ノ僅カ一千圓ニ付テ一圓幾ラカシカ利益ノナイ鐵道ヲ而モ此財政ノ困難ナル場合ニ於テ政府ハヤツテ居ルテナシカ、皇室至ガ重キカ、一毛利家が重キカト云フ不倫極マル質問ヲ守屋君ハサレテ居ツタノアリマス、既ニ守屋君ハ常識ヲ以テ之ヲ云ハレタノアクシテ、政府が偶々此ノ如キ失言ヲ述ベタノヲ捉ヘテ、政府ヲ譴責スル材料トセラレタノデアラウト思ヒマス、要スルニ此ノ如キ卽位五十年云々ト云フコトハ政府ノ當局が舊思想ヲ以テ要ラストコロノ理由ヲ付ケタクメ此問題が起ツタノアリマスカラ、斯ウ云フコトハ政府ヲ責メル必要ハナリ、又之ヲ以テ非常ニコトハ、皇室ノ尊嚴ヲ傷ケル、或ハ名譽ヲ傷ケルト云フコトハ、カタレーナイコトデ我天皇陛下ハ不世出ノ英質ヲ以テ万世一系ノ帝祚ニ卽カセ給フ神聖ナル御方アレバ、此ノ如キ片々タル一博覽會が即位五十年ニ於テ開ケル開ケヌト云フタメニ、決シテ此、皇室ノ尊嚴ヲ傷ケルコトハアリノアリマス、斯様ナ愚論ハ餘波ヲ取ルニ足ラヌト思ヒマス、其次ニ第二ノ海外ノ信用云々ト云フコトハ、守屋君ハ常ニ云ウテ居ラレル我外交ハ軟弱ニシテ、常ニ外交ノ鼻息ヲ窺ヒ、十分ナル手段ヲ取ルコトヲ宜シテ、欲スレバ行ウテ宜シ、決シテ外國ノ鼻息ヲ窺フ云々ノ必要ハナイト信ズルノアリマ

ス、又其次ノ第三ノ公共團體若クバ私人ニ對シテ云々ト云フ話アリマスガ、併ナガラ吾々ハ決シテ是ニ拘泥スルモノアリマセヌ、縱令政府自ラ國家ノ事業トセナクテモ、之ヲ或ハ東京府ナリ、其他東京市ナリ、十分ノ目的ヲ達スルニ於テハ、個人若クバ公共團體何レナリトモ、其實ヲ舉レバ即チ其目的ヲ達スルノアリマス、既ニ此事ハ提出者ノ一人デアルトコロノ高木益太郎君ノ御希望デ、吾々ハ此ノ如ク修正致シテアリマス、殊ニ此問題ハ委員九名ノ中八名マテハ既ニ贊成デアル、守屋君ト黨派ヲ同クセラル、高木正年君マテモ、之ニハ贊成シテ居ラル、ノデアリマセヌカ、只一人ノ守屋君が原案ノ意見ヲ有セラル、ノデアリマス、左様ナ理由ヲ以テ私ハ本案ニ贊成スルノアリマス。○恆松隆慶君、ダ申込ガアルヤウニ見エマスガ、コヽラアタリテ討論終結アランコトヲ希望シマス。

〔「贊成々々」ノ聲起ル〕

○議長（大岡育造君） 討論終結ノ動議が出タナラバ、採シテモ宜シイデアリマス、藏原君モ發言權ヲ拠棄シマシタ、既ニ決ラ採ル機が熟シタリト認メマスカラ、決ラ採リマス、委員長報告ノ通り御異議アリマセヌカ

〔「反対デス」異議アリ「ト呼フ者アリ」〕

○議長（大岡育造君） 委員長報告ニ贊成ノ請君ノ起立ヲ求メマス

○議長（大岡育造君） 多數デアリマス、可決致シマシタ、此場合諸君ニ御詰リ申シテ置キマス、大分議案モ溜ツテ居リマスカラ、明日ハ午前十時ヨリ開會致シタイト思ヒマス——明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス、日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是テ散會ヲ告ゲマス

午後六時二十五分散會